

令和5年度 共通教育カリキュラムマップ

【科目一覧】

基礎教養科目群 人文科学科目

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
23GBSH0001	神話・伝説の世界から	全て	民衆の中から発生した文学の背景を見つめ、本質に触れながら作品を鑑賞し、多くの文学作品の根底に流れるものを読み取る力をつけることを目的とする。	神話の普遍性について考え、人類の文化を知る。
23GBSH0002	平安朝文学の世界	全て	平安朝の文学を通して、当時の人々の生活・風俗や考え方に触れ、我が国の文学や文化についての理解を深めることを目標とする。	古典文学作品を読解する基本的な能力を身につける。平安時代の人々の生活や考え方や、文化について理解する。平安時代のさまざまな作品に触れることを通して、文学史の知識を身につける。
23GBSH0003	芭蕉をめぐる人々	全て	「芭蕉」は交流のあった人々にどのような影響を与えかつ受けたのかを知ることができる。「芭蕉」は独自の俳諧を開拓するにあたって、多くの人の影響を受け、また多くの人に影響を与えている。この講座では、「芭蕉」はどのような人と関わり、どのような影響を受けたのか。また「芭蕉」らしさはいかにして形成されたのかを知ることができる。	「芭蕉」と交流のあった人々に対する彼の書簡や著作を読み解くことにより、「芭蕉」の人間性や考え方を理解し、その感性に触れることを目標とする。
23GBSH0004	雨月物語に込められた情念	全て	『雨月物語』は一般に怪異小説と受け取られていることが多い。しかし、その中には作者「上田秋成」の執着、執念などの思いが込められている。そういった情念を怪異譚の中から読み取ることができる。	『雨月物語』に込められた情念や「秋成」の主張する教訓的な内容を理解することが目標である。
23GBSH0005	芭蕉と旅	全て	「芭蕉」の旅の記録や作品である紀行に触れることによって、その俳文を通じて彼の人生そのものともいべき旅への想いと、その人生観・俳諧観にふれることができる。	「芭蕉」にとっての旅というものを通じて、彼独自の人生観や俳諧観を理解することが目標である。
23GBSH0006	「心中天網島」の女房「おさん」	全て	心中物に登場する当事者以外の人（脇役）でありながら、『心中天網島』において主役にも比すべき重要な役割を演じる「紙屋治兵衛」の女房「おさん」の心情やそれに基づく行動が理解できる。	「おさん」を初めとする登場人物それぞれの心の動きや、その妥当性・合理性を確認することが目標である。
23GBSH0007	英語圏の文学・文化	全て	英語圏の代表的な文学作品について学び、その作家や作品が生まれた時代および文化的背景などについて理解を深めることを目的とする。	アメリカ文学およびアメリカ文化についての知識を身につける。人間の普遍性と多様性について理解し説明することができる。
23GBSH0008	日本史の中の女性たち	全て	日本の歴史上、各時代において女性が果たしてきた役割と機能について考察することで、現代社会における生き方について考える素材とする。	日本の歴史上、女性が果たしてきた役割と機能について理解し、女性として現代を生きるための指標を獲得する。
23GBSH0009	日本の画像文化論	全て	描かれた資料から、日本社会の歴史や生活、文化について、立体的に理解することを目標とする。	過去に描かれた画像メディアから、その目的や意図を読み取ることで、当該時代の歴史、生活、文化等について理解する。画像メディアを例として、資料、メディアから情報を収集するための考え方、技術を身につける。
23GBSH0010	日常生活からの哲学入門	全て	この科目では、西洋と日本の哲学者のさまざまな議論を紹介しながら、「見る」「触れる」「感じる」といった日常にありふれた経験を分析する。これらの経験について考えた哲学者たちの議論の仕方を学ぶことによって、哲学的な考え方・ものの見方を身につけることを目的とする。	西洋哲学の基本的な言葉遣いを学ぶことで、西洋文化の基礎にある考え方を理解する。言葉を用いて問題を発見し、整理し、論理的に考える力を身につける。一つの経験に対して複数の考え方がありうることを理解し、それぞれの考え方のねらいを踏まえて主体的に判断する力を身につける。

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
23GBSH0011	現代フランスの音楽事情	全て	フランスの音楽を中心とする芸術に関する事柄（文化政策や音楽活動）を通してフランスの一側面を学ぶと同時に、音楽と社会について考察できる力を培う。フランスの例から日本の音楽事情にも考えを巡らせ、更には自らの専門領域に対する深い思考力を身につける。 「芸術の都パリ」と言われるが、その表面的な煌びやかさだけでなくそれを支える背景、また社会における芸術の位置づけまで想像できるようにする。	フランスにおける音楽活動や文化政策の一端を知ることで、異文化理解や多様性を尊重する視点につなげる。フランスは、芸術文化や料理、菓子、ファッションなどの分野で世界から注目されているが、その背景について深く知り、自らの学習に役立てられるようにする。 授業で学んだ内容をもとに、専門領域におけるフランスの事例を調べたり、日常生活でもフランスに関連する内容をより深く理解できるようにする。 芸術に対する公的支援についても、政府が芸術活動に関与することに対して、根拠となる情報や資料に基づいて多面的に捉えられるようにする。
23GBSH0012	ミュージカル歌唱法	全て	音楽によって感受性を豊かにし、表現することで積極性を養う。	歌を通じて客観的に自分を理解し、それを表現し伝えることを体感する。
23GBSH0013	音楽の科学	全て	音楽は今も昔も私たちの生活の一部であり、暮らしに彩りを添えてくれる。近年の研究において、音楽を聴く、歌う、演奏するといった活動を行っている時には、脳の様々な領域が働いていることがわかってきた。本講義では、音や音楽の科学的な側面と社会とのつながりに焦点を当て、音楽を享受する人間の本質の一端を明らかにすることを目的とする。	①音の3要素および音楽の3要素を説明することができる。 ②空気の振動である「音」が「音楽」になる過程を説明することができる。 ③一般の人と音楽家の脳活動の違いを説明することができる。 ④音楽を利用したセルフケアの方法を考え、生活の中で実践することができる。
23GBSH0014	フランスの音楽と芸術文化	全て	芸術的創造の世界的な中心都市としてパリは人を惹きつけ続けている。音楽を中心とする西洋の芸術文化を社会との関わりという視点を交えて体系的に学ぶことで、芸術文化について考察する力を培う。フランスの例から日本の芸術創造環境にも考えを巡らせ、更には自らの専門領域に対する洞察力を身につける。	パリを中心とするフランスにおける音楽活動や芸術文化政策を知ることで、幅広い視野で対象を捉えられるようにする。フランスは、芸術文化や料理、菓子、ファッションなどの分野で世界から注目されているが、その背景に存在する光と影の部分について多面的に捉えることができるようにする。例えば、パリの中心部と郊外の芸術活動とその支援の違い、また別の面では、芸術作品のもつ訴求力を考えるにあたり、革命につながる啓蒙思想など社会の動きと音楽作品の関連や権威を示す手段としての芸術など、社会における芸術の位置づけについて論述できるようにする。
23GBSH0015	ヨーロッパの名歌歌唱法	全て	これまでどこかで聞いたことがあるであろうヨーロッパの名歌の数々。イタリア、フランスおよびドイツの歌を中心に、それらを原語にて歌唱することにより、自らの声で表現する楽しさを経験し、各国の文化について学ぶことを目的とする。	ヨーロッパの名歌に触れ、その美しさを知ることにより、曲の内容に沿った歌い方で心豊かに表現する。
23GBSH0016	合唱表現	全て	社会生活に必要な「人の話を聞く」「理解できる」「自分を表現できる」そして「協調できる」ことを目的とする。 合唱において他声部を聴き、皆と協調する喜びを体感することで、人と協調する喜びや学びになることを体得する。それらが人生に活かせる学びになることを目的とする。	譜読みの能力を向上させ、初見で歌う能力を高める。耳をよく使って、美しいハーモニーの重なりを感じ取れる能力を身に付けること。人の身体が楽器である「声」を生かして、歌詞（テキスト）の意味を理解し、その曲をどのように表現していくかを皆で考えながら創り上げる楽しさ・喜びを知ること。
23GBSH0017	先端芸術表現	全て	膨大な情報そしてモノが溢れる現代社会において、芸術表現の手段となり得るメディアは多岐にわたる。先端芸術の「今」を理解し自ら表現することを通して、芸術表現の可能性に挑む。	まずは昭和末期から平成の今現在に至る国内外のアート・シーンの概況を捉える。そしてそこに現れた数多の技法や思考法のいくつかを理解し、自らの作品へと反映させる。コンセプチュアルな表現も多いことから、構想から制作そして作品化のプロセスを「ことば」として明確にする。
23GBSH0018	自己発見アート	全て	アート表現を使ったセラピー的学習。ものを創造し、表現していく過程から、普段の生活では自覚しにくい潜在的な自己を発見する。自分自身をうまく表現する術、自発的にものを考える力、さらには、人とうまくコミュニケーションをとる手段などを身につける。	自分自身をうまく表現する術、自発的にものを考える力、さらには、人とうまくコミュニケーションをとる手段などを身につける。
23GBSH0019	未来造形	全て	未来について考え、そのイメージを作品として表現することで、現代を生きる自分自身が未来を構築していくための一員であることを自覚する。既成概念に捕われぬ発想力や想像力の育成と、基本的な表現技術の習得。	物をつくる過程を通し、創造する喜びを知る。また、他の人の作品を通し未来の多様性を感じる。
23GBSH0020	日本舞踊に学ぶ着付けと作法	全て	この科目は、和の文化日本舞踊に触れながら、一人でできる着付け・人に着せる着付けを学ぶ。そして楽しみながら自然にマナーを学び、美しい身のこなしや人とのつき合い方を身につけることを主な目的としている。	“舞い”・“踊り”・“仕種”から構成される日本舞踊の作品に触れ、伝統芸術を理解し、国際化時代にふさわしい品格を忘れない魅力的な女性を目標とする。

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
23GBSH0021	歌舞伎鑑賞入門	全て	日本の伝統芸能の一つである歌舞伎について学び、その魅力に触れるとともに、そうした芸能を育んできた我が国の文化についても理解を深めることを目的とする。	歌舞伎についての基本的な知識を身につける。歌舞伎の面白さを理解する。江戸時代の文化についても理解を深める。
23GBSH0022	日本の文化 I	全て	Learning Japanese culture with people from around the world is important. Looking carefully at Japanese culture is helpful in understanding our global society. This course aims to introduce important concepts of both traditional and modern Japanese culture. Students are expected to look at their own culture critically, and be able to articulate their thoughts with others in the class.	At the end of this course, the students will be able to; describe unique concepts of Japanese culture in English, relate the knowledge learned to real life experiences, express and share their own ideas and opinions with peers, increase awareness of Japanese culture and how they understand it in their daily lives, conduct research in their area of interest, create short movies on their introduction, interviews, and research topic, participate in role plays or debate differing views with other students in pairs. Be able to use, 'who, what, why, where, when' type questions with other students.
23GBSH0023	日本の文化 II	全て	Learning Japanese culture with people from around the world is important. Looking carefully at Japanese culture is helpful in understanding our global society. Building on Japanese Culture I, this course will continue to introduce additional important concepts of both traditional and modern Japanese culture. Students are expected to look at their own culture critically, and be able to articulate their thoughts with others in the class.	Building on Japanese Culture I, this course will continue to improve their ability to; -describe unique concepts of Japanese culture in English -relate the knowledge learned to real life experiences -express and share their own ideas and opinions with peers -increase awareness of Japanese culture and how they understand it in their daily lives -conduct research in their area of interest -create short movies/powerpoint on their introduction, interviews, and research topic -Participate in role plays or debate differing views with other students in pairs -using the 'who, what, when, where, why' questions.
23GBSH0024	建築文化論	全て	建築のさまざまな技法、形式について、その文化的背景を認識し、建築の働きについて理解が深まる。	建築は風土、社会制度、あるいは時代精神などの文化的背景によって規定される一方で、建築の働きによって景観、生活様式などを形作っている。その相互作用の様相に関する幅広い知識を得ることで、建築について 1 学生は、風土を視野に入れた考察を発表することができる。 2 学生は、歴史を視野に入れた考察を発表することができる。 3 学生は、伝統を視野に入れた考察を発表することができる。
23GBSH0025	建築と歴史	全て	建築と歴史、および両者のかかわりの事例を学ぶことを通し、建築や都市を見る基本的な枠組みを理解し、それらを生み出した歴史、文化について考える力を養う。	ヨーロッパと日本のさまざまな都市や建築の歴史、文化に関する基礎的知識を習得し、その美的、歴史的、文化的価値を理解し、それぞれの地域の伝統的文化や国際的な関係にも積極的に関心を払うことのできる基礎的能力を培う。
23GBSH0026	遊びの人類学	全て	本科目の目的は「遊びとは何か」、遊びを文化（約束事）の問題として考えることである。 遊びを文化として理解することの重要性は、遊び現象のなかに社会と文化が投影されていることを読み解いていくことにある。近年、遊びを「する」と同じくさらに、遊びを「考える」ことが魅力的なものとなってきている。 遊びに凝縮・刻印されている文化と社会を、異文化理解と自文化理解の展望のもとに「調べ・考え・まとめ・実践する」ことを進めてゆく。	到達目標は二つある。 一つは、遊びのもつ多様性を授業によって理解した上で、学生自らが遊びとそれがおこなわれている社会との関連性について説明することができるようになることである。 そして、遊びの本質を理解することによって、人が人らしく生き、豊かさが実感できる社会を実現するために遊びを活用する方策を創造できる力を養うことにある。 本科目は、すぐに役立つようなチカラ、目に見える成果としての能力を身に付けることを目標とはしていない。それでは「この科目は何の役に立つの？」と疑問を持たれる方がいるかも知れない。 アップルの創業者の一人であるスティーブ・ジョブズさんは「アップルというのはテクノロジーの会社ではなく、テクノロジーとリベラルアーツの交差点にある」と語っている。リベラルアーツとは簡単に言うと「役に立たない学問」である。まさに本科目があてはまるかも知れない。一見役に立たない学問が本当に新しいものを創ってきたと言える。 この科目は、一人一人の未来の可能性を広げるキッカケ、あるいは方向性を提供する。

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
23GBSH0027	SNSから日本語を見る	全て	近年、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）は、私たちの生活の中で大きなウエイトを占めるようになってきた。それは、SNSにかかわる行動だけではなく、人間のコミュニケーションにおいてももっとも重要で基本的な役割をもつといえる言葉にも影響を及ぼしている。本科目では、身近な存在であるSNSの言葉そのものに焦点を当て、表現や表記などの用いられ方に一定の法則があることなど、SNSの言葉の面白さと特徴を知ることが第一の目的とする。また、SNSで用いられる特徴的な言葉を収集しその意味を記述できることを第二の目的とする。	SNSで用いられている日本語にはどのような特徴があるかを理解し、また、その特徴を知り、説明するための方法を認識している。
23GBSH0028	英語を学問する—理論と実践	全て	専門的な視点から深く学ぶことを通して、英語という言語についてより深く理解し、そこで得た知見を英語の学びに活かすことを目的とする。 The purpose of this course is to gain a deeper understanding of the English language through in-depth study from a specialized perspective and to apply the knowledge gained to the study of English.	社会の中における英語という言語について考察する。なぜ英語が世界へと広がり「共通語」とも呼ばれるような地位を確立したのか、「バイリンガル」や「グローバル人材」とは何なのか、英語を教えること・学ぶことの意義や影響、英語の多様性、世界における言語格差などについて学び、自分なりの英語とのつきあい方を再考する。 文献を読み、さまざまな見解を照らし合わせて自分自身のスタンスを形成する。
23GBSH0029	日本語の世界	全て	日本のことばを対象として、わたしたちを取り巻く言語や文化のあり方に関する広範な知見を獲得し、社会生活に求められる相互理解の礎とするとともに、人文科学の研究方法を学んで、実例や根拠に基づき、論理的に考察する態度を養成する。	現代日本語の表記・音韻・語彙・意味・文法・文章・談話の諸相と特徴、日本語話者の言語生活の特性をよく理解している。 現代日本語の具体的な使用実態から日本語の仕組みを分析し、先行研究を調べ、論理的なレポートを作成することができる。
23GBSH0030	心理学入門	全て	本科目は心理学を初めて学ぶ人を対象として、心理学の基本的な考え方や方法論を理解することを目的としている。また、ここでは科学としての心理学を理解し、自己理解や身近な生活への活用について考える。	①授業で扱った心理学用語や現象について、資料を見ながら説明できる。 ②授業で扱った内容を用いて、自分自身の生活や経験を分析し、他者に分かりやすく伝えることができる。
23GBSH0031	人間関係の心理学	全て	私たちは日々、誰かと関わって生活している。人間関係は大きなストレスにもなる反面、心に安らぎも与えてくれるものである。この科目では、人間関係について心理学的に理解することを目的としている。	①人間関係に関する心理学の基本事項を理解し、説明できる。 ②授業で扱った内容を用いて、自分自身の生活や経験を分析し、他者に分かりやすく伝えることができる。 ③クラスメイトの意見やレポートに対する自分の感想や意見を、適切な表現で伝えることができる。
23GBSH0032	心理学実践演習	全て	「心理学は占いのこと?」「心理学を学んだら人の心が読める?」など、心理学という言葉に漠然としたイメージを持つ人も多いと思われる。この科目では、心理学の研究を実際に体験しながら、科学としての心理学を理解することを目的としている。	①心理学研究法の基本を説明できる ②意欲・関心をもって、他者と協力しながらデータ収集に取り組むことができる ③図表などを用いて、得られたデータを適切にまとめることができる ④得られた結果を分かりやすく他者に説明できる
23GBSH0033	生活の中の心理学	全て	人の発達や心の健康、対人関係など、日常生活に深く関連する心理学の学びを通じて、生物学的加齢と「こころ」の加齢の関係を中心に、生涯にわたる「こころのメカニズム」についての知識やその実際について理解することを目的とする。	・理論や研究に基づき、各発達段階における発達の特徴について理解し、説明できる。 ・過去、現在、未来の人のありようについて発達の連続性の観点から説明できる。
23GBSH0034	インテリアプロダクトのデザイン	全て	インテリアエレメントの中でも特に椅子、照明のデザインについて、歴史的な変遷、デザイナーの意図・世界観、生活文化など様々な視点からその成り立ちを知り、理解を深めることを目的とします。	名作といわれる椅子・照明器具について、使いやすさ・快適さ・視覚的な魅力など、その特徴と理由を考えることを通じて、家具についての視野を広げ、評価・選択の視点・基準を身に着けます。
23GBSH0035	インテリア空間のデザイン	全て	インテリア空間のデザインについて、歴史的な変遷、デザイナーの意図・世界観、生活文化など様々な視点からその成り立ちを知り、理解を深めることを目的とします。	名作といわれるインテリア空間について、使いやすさ・快適さ・視覚的な魅力など、その特徴と理由を考えることを通じて、インテリアについての視野を広げ、評価・選択の視点・基準を身に着けます。

基礎教養科目群 社会科学科目

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
23GBSS0001	アウシュビッツ 戦争と女性	全て	<p>「戦争を考えた」 ロシアがウクライナに侵攻してから一年、戦争は現実のものとして眼前に存在している。「核」の危機も叫ばれている。我々は過去から何を学んだのか。歴史は今に通じていることを確かめたい。</p> <p>これまで学んできた「戦争」は年表や地名・人名を記憶する「現代史」の一部であった。その時代を生きた人々の息遣いを感じる教育に巡り合っただけで、たしかに戦争体験者は減っていく一方である。戦争遺跡も消えている。しかし、若者の関心は薄れるばかりだろうか。人間の歴史として位置付けられれば、興味を抱くことができる。授業の焦点はここに置かれる。第二次世界大戦の最大の惨禍とされるアウシュビッツとヒロシマ、そしてわが国で唯一戦場となった沖縄。女性たちにも容赦なく悲劇は襲った。担当者は新聞記者としてその跡に立ち、膨大な証言と遺品に向き合ってきた。学生たちは初めて知る事実が多いだろう。登場するのはすべて、みなさんと年齢の変わらない女性ばかりだ。戦争遺跡の保存、証言者からの継承など、新しい試みを織り交ぜて展開される。「知りたい」気持ちが沸き起こる。ロシアとウクライナの戦争もニュースとして織り込まれる。</p>	<p>「目指すものは」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業では音声を中心に各種の映像資料や文字資料などを通して、戦争に翻弄された個人、とりわけ女性の過酷な日々を知ることができる。「戦争」に対する表層的な知識に留まらないレベルまで理解が深まる。 ・祖母の戦争体験を聞くことや家族と語り合うことで、戦争が決して遠い世界のことではないことを実感し、自分にできることは何かを考え、「行動」にまで高められる。 ・「愚者は経験に学び、賢者は歴史に学ぶ」とはどのような意味なのか。自らの言葉で語ることができる。 ・「無関心」「傍観」が何を生み出してきたか。その歴史を学び、今日的な課題にリンクさせることができる。
23GBSS0002	情報化と教育	全て	<p>“教育”は誰もが受けてきており、成人であれば誰もが独自の教育観を持っているものである。</p> <p>本講義では情報化（科学技術の進展）が社会や学校教育に及ぼした影響や、情報の特性（意図の介在や情報の残存性など）について理解を深めるとともに、情報社会に必要な知識や心構えを学び、社会の変化と教育が密接な関係があることを知る。また、他の受講生のまとめ（日々の課題）や最終課題（発表動画）などを聴くことで多様な考えに接し、思考を深め、表現する力や協働的な課題解決の姿勢を養う。</p>	<p>(1) 教育の歴史や教育の新しい流れについて理解を深める。 (2) AIをはじめとしたイノベーションに伴う諸問題について理解を深める。 (3) 情報化（科学技術の進展）に伴う諸課題（AIとの共存、個人情報保護と情報公開など）について、自らの考えを明確にできる。</p>
23GBSS0003	現代の教育・保育事情	全て	<p>国内外における現代の教育・保育の状況や論点、問題点などを取り上げ、様々な視点・観点から分析し、今後の日本の教育・保育の課題やあり方について考察を深める。</p>	<p>①現代教育のキーワードである「主体性の育成」の理念・問題点・方法について説明できる。 ②現代の保育事情や課題について説明できる。 ③Society 5.0時代の社会や学校における学びや資質能力の育成の在り方について説明できる。 ④今の時代のデジタル機器の活用能力の育成について説明できる。</p>
23GBSS0005	カウンセリングの実際	全て	<p>さまざまな分野から必要性が求められている対人支援のカウンセリング、その実際を理解し、基礎力をつける</p>	<p>1.対人支援において人を理解するとはどのようなことかの説明ができる 2.心のバランスを崩した状態の説明ができる 3.性格や心の葛藤について説明ができる 4.支援するときの聴き手の基本的な態度を説明できる 5.対人支援におけるもの見方について説明ができる</p>
23GBSS0006	実践カウンセリング	全て	<p>カウンセリングの基本的な考え方、方法から、生活や仕事に役立つ実践力を学ぶ</p>	<p>1.人を支援するときの原則が説明できる 2.対人支援において人の話を聴くときの留意点が説明できる 3.人を理解するとは何か子どものこころの病とは何かの説明ができる 4.家族評価について説明できる 5.さわやかな自己表現とは何かを説明できる</p>
23GBSS0007	生涯福祉論	全て	<p>学生が、福祉における「ゆりかごから墓場まで」の生涯の中で、「楽しい生活とは何か」について考え、基本的な福祉制度を学びながら自分自身は「どう生きるか」を考えることを目的とする。</p>	<p>1. 学生が、学習した制度が自分の身近な生活の中に関わっていることに気付くことができ、福祉が自分の生活に密接していると理解することができる。 2. 学生が、授業を通して福祉の領域での「楽しい生活とは何か」について、そして楽しい生活を目指して「自分はどう生きるか」について考え、述べることができる。 3. 学生が、提示された授業テーマに関連した新聞スクラップ記事の内容に疑問を持ち、その疑問を調べ、考えて述べるすることができる。 4. 学生が、学部を超えて他の一部の受講生の解答から更に学びを深め、自分の考えを深めることができる。</p>

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
23GBSS0008	社会福祉とボランティア	全て	学生が、福祉における医療、介護、障がい者、そして貧困の領域で、「よりよい生活の確立」と「生きる力」について考え、そこでボランティアが「生きる力」にどのように繋がるのか具体的に考えることを目的とする。	(1) 学生が、各テーマ毎に基礎的な知識と制度を学び、制度の限界（法の隙間）の中でボランティアの必要性を考えることができる。 (2) ボランティア経験が「ある」と「ない」学生が、ボランティア紹介によって相互に作用し、更に自分のボランティアの価値観について考えることができる。 (3) 学生が、授業外の学修に取り組むことで福祉の領域で「生きる力」、「よりよい生活の確立」とは何かを考えることができる。そして学生自身の「生きる力」とよりよい生活を確立するために何が必要かを考えることができる。
23GBSS0009	福祉レクリエーションの実際	全て	福祉レクリエーションとは、高齢者や障がい者に多く見られる生活支援を必要としている人々に対して、身体的・精神的な健康を意図して行われるレクリエーションの一分野である。ともすれば、専門職に就く人間にのみ必要と特別扱いされ敬遠されがちな分野であるが、コミュニケーションやレクリエーションの方法を実際に体験しそのスキルを身につけるとともに、学生自身がおかれている家庭環境や社会環境を通じて、そのスキルや考えがこの社会で生活するすべての人間が必要なことでありと理解することを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> 自分自身の福祉的な環境について認識する レクリエーションの意義を実技を通じて体感する 身近な福祉の環境を想定しながらレクリエーションやコミュニケーションを計画する 身近な福祉の環境にレクリエーションを実施する
23GBSS0010	聴覚障害者の理解と手話言語	全て	聴覚障害者の理解につながる基本的な事柄を学ぶことにより、グローバルな視野に立って、共生社会の意味を考える。 また、国内で使用される言語の一形態として手話言語を学び、日常会話ができるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> 聴覚障害者の理解につながる基本的なことを学ぶ。 挨拶や自己紹介、趣味や好きなことを手話言語で会話できる。
23GBSS0011	子育てと家族関係	全て	家族の中には、夫婦、親子、兄弟姉妹などといったさまざまな関係が存在している。将来、親として子どもに接する自分像、あるいは家族像を構築するために、青年期から成人期における女性の発達をこれらの家族関係とのかかわりでとらえることにより、現在の家族の一員としての自分を再確認することを目的としている。	<ul style="list-style-type: none"> 家族の意味と機能を説明することができる。 家族の中の人間関係について振り返り、各々の役割を整理することができる。 家族の中で自分の果たせる役割を見つけることができる。
23GBSS0012	子育てと母性の気づき	全て	現代は、女性の社会進出によるライフスタイルの変化や、日常生活における乳児との接触機会の減少などの影響により、「産む」「育てる」ことが、個々の選択により委ねられる時代になったといえる。これをふまえた上で、出産というライフイベントに対する興味を喚起することを目的としている。	<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児の発達について説明することができる。 多くの人の持つ母性に対するイメージについて述べることができる。 子育て中の母親に対して配慮することができる。
23GBSS0013	現代社会と憲法	全て	日本国憲法の理念、体系について学ぶとともに、日本国憲法が具体的にいかなる形で日常生活に影響を与えているかを知ることによって、法的な思考プロセスの基礎を養うことを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> 日本国憲法への関心および基礎的な理解を深める。 法的な思考プロセスへの親和性を高める。 日常生活における様々な事象について、法的な視点から考察するための基礎を身につける。
23GBSS0014	教養としての法律	全て	初めて法律を学ぶ学生に対して、法律とは何かを学んでもらうとともに、身近な事例を題材として、法律が生活とどのように関わっているのか、いろいろな角度から考えてみることを目的とする。	日常生活に関係する法律問題について興味関心を持ち、法律が身近に感じられる。
23GBSS0015	暮らしと法律	全て	初めて法律を学ぶ学生に対して、法律とは何かを学んでもらうとともに、身近な事例を題材として、法律が生活とどのように関わっているのか、いろいろな角度から考えてみることを目的とする。	日常生活に関係する法律問題について興味関心を持ち、法律が身近に感じられる。
23GBSS0016	女性と子どものヘルスケア	全て	この科目の女性のヘルスケアに関しては、思春期から老年期までの女性に特有な健康課題、および健康を増進し、疾病を予防するためのセルフケアについて学ぶ。さらに子どもの成長に伴う身体的特徴、病気や事故の予防のための手立てや対策について学ぶことを目的とする。	<ol style="list-style-type: none"> 女性に特有な健康課題を述べることができる。 女性の健康増進と疾病予防のためにできるセルフケアを説明できる。 子どもがどのように成長し、どんな身体的・認知的特徴を持っているかを説明できる。 病気や事故に対する予防方法について説明できる。
23GBSS0018	まちづくりと地方自治の役割	全て	地方公共団体（都道府県・市町村）は、私たちの暮らしに密接に関わる、多くの行政サービスを提供しており、住民生活において、多種多様な役割を果たしている。本授業では、地方自治制度の概要と住民の暮らしやまちづくりのための取り組みを知り、行政施策の課題と解決策を考察する。	<ol style="list-style-type: none"> 地方自治に関する制度の概要を説明できる。 住民の暮らしやまちづくりのために、地方公共団体が果たしている役割や取り組みについて説明できる。 行政施策の問題点や課題を発見し、その解決策について自らの考えを示すことができる。

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
23GBSS0019	建築と社会	全て	人間が日々の生活を営む上で必要不可欠な、建築とそれを取り巻く社会に着目し、両者のかかわりに関する多様な事例を学ぶ。この学びを通して、これからの建築や社会のあるべき姿と、その実現のために自分自身ができることを探求するための一助とすることを目的とする。	現在、および今後の学生生活のみならず、卒業後の生涯を通して、建築と社会のあるべき姿を継続的に考え、その姿の実現を目指した実践を各自が行う上で重要な、知識と倫理観に支えられた思考力を養うことを目標とする。
23GBSS0020	消費者生活論	全て	この科目は、学生が充実した消費生活を営むために、確かな目で商品・サービスを選択し、安全・安心な豊かな生活を手にすることができるようになることを主な目的としている。また、自身の消費行動が国内だけでなく世界の経済や環境に影響することについて学び、SDGsを達成するために消費者市民としての行動について考察することにより、卒業後の社会生活に活かせることを目的とする。	学生が授業を通じて、SDGsを意識し、消費者市民として個々の特性を尊重し、社会・経済・環境など幅広い視点から消費生活について論理的に思考し、問題解決力を養うことを目標とする。 ・消費者問題に関心をもち、日常生活の中でトラブルに巻き込まれないためにはどうすればよいか意欲的に学習し、行動することができる ・安全・安心な生活を送るための知識を習得し、他者に説明することができる ・情報感度を高め、正確な情報を入手し、消費者市民としての行動を3つ以上説明することができる
23GBSS0022	英語で学ぶやさしい経済学	全て	私たちの日常生活は経済と密接に関連しており、その身近な経済活動がグローバル社会の動向に大きく影響している。経済はビジネス・政治も大きく関わっており、グローバルな視野を持ち社会の一線で活躍する社会人には不可欠な知識である。この科目では、経済学の基礎知識を日本語と英語で身近に学び、将来のキャリアに活かせる教養を身につけることを目的とする。 The purpose of this course is to equip students with elementary knowledge of domestic and global economy. Students will explore how our daily life is related to business and economy.	-基礎的な経済学のコンセプトを説明することができる。 -英語経済用語を理解し、英語経済ニュースの内容を理解できる。 -経済活動や時事ニュースを整理して分析できる。
23GBSS0023	英語で学ぶお金の知識	全て	お金は我々の日常生活に深く関与しており、一生涯いていく経済活動である。それ故にお金に関して正しい知識を持つことは教養と社会生活の両面で有益である。この科目では、大学生活やライフイベント（就職、結婚、育児、老後）等、様々な場面で有用なお金の知識を日本語と英語で身近に学び、ライフプランに関する基礎知識やファイナンシャル・リテラシーを身につけることを目的とする。 The purpose of this course is to equip students with elementary knowledge of finance and life plan.	-基礎的なパーソナルファイナンスのコンセプトを説明することができる。 -英語金融用語を理解し、英語金融ニュースの内容を理解できる。 -日本と海外のパーソナルファイナンス事情を比較することができる。 -経済活動や時事ニュースを整理して分析できる。
23GBSS0024	我々の暮らしと日本の産業	全て	我々の生活は、様々な産業が提供するモノやサービスによって成り立っている。本講義では、産業とは何かを経済との関係でとらえた上で、日本の産業の移り変わりについて学ぶ。また、産業に対して政策が果たした役割について考え、日本の産業が抱える問題や課題を浮き彫りにする。さらに日本の第二次産業および第三次産業のなかから特徴的な業種をとりあげ、その歴史、特徴、課題等を学ぶとともに、今後の産業の姿を展望する。	・日本の産業構造の変遷を学び、日本の産業の実態と課題について基礎的な知識を踏まえて説明できる。 ・主要産業の歴史や特徴・課題について、分析・評価できる。 ・学んだ内容を、就職活動や社会人として行う業界研究に応用することができる。
23GBSS0025	メディア技術と文字デザイン	全て	誰もが情報発信者となりうる高度情報化社会において、わかりやすく情報を発信していくための知識や技術は、あらゆる人にとって必要なことである。本科目では、メディアテクノロジーと文字（書体/タイプデザイン）の歴史を紐解きつつ、メディアテクノロジーの進化が、人々の知覚にどのように関与してきたかを考察する。それらを通して、人々の「みる」行為を意識するとともに、自身の情報発信のあり方（デザイン）を見直し、よりよい発信のための思考を身につけることが、本科目の目的である。	1：デザイン表現に関する基礎知識や思考法を説明できる。 2：研究発表（スライド、ポスター）やビジネスシーンにおいて必要とされる、適切な情報表現法を実践できる。 3：メディアテクノロジー史を通じて、表現メディアと社会との関係性を説明できる。 4：「よむ」ための文字だけではなく「みる」ための文字に対する審美眼を養い、自身の情報表現に活用できる。

基礎教養科目群 自然科学科目

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
23GBSN0001	エコロジーと私たちの暮らし	全て	現在、国連が推進する「SDGs（持続可能な開発目標）」への関心が高まりを見せている。TV、新聞等のメディアが毎週SDGsに関する番組や記事を掲載している。SDGsには多くのエコロジー（環境保全）に関する目標が含有されている。本講義はこのSDGsについてその実態を解説していく。	SDGsの内容と実態をプレゼンできる。

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
23GBSN0002	科学から考える生活の材料	全て	現代生活は便利なモノに溢れている。モノのおかげで私達の生活は快適になったが、一方でモノはブラックボックス化し、人々は溢れる情報に流されやすくなっている。また、環境や健康に関する新たな問題も引き起こされている。材料に対する科学的知識が欠如した製品作りや消費行動は、それら負の側面を増大することに繋がる。本授業では、ファッションを題材としてモノの科学的な見方や捉え方を学ぶ。現代生活の身の回りのモノを構成する物質を科学の眼で捉える能力を養うことで、衣生活のみならず、生活全体の質の向上や環境保全への貢献に繋がるだろう。	ファッションを中心に、身の回りのモノを構成する物質の正しい知識、背景、歴史を知る。次の段階として、ファッションで活躍する物質の性質を正しく理解する。十分な理解に到達した段階として、科学的視点によって、着装に関する行動の改善や、繊維製品による生活や環境の改善にむけてより良い製品開発の提案が行える。
23GBSN0003	数的能力の発達過程	全て	数学は人間の生活を豊かなものにし、遠い未来を見据えた大きな課題から身近な課題まで多くの問題の解決に寄与してきた。しかしながら小学校から高等学校の算数・数学でつまづいて苦手になった人は多い。数や数学の発生過程から現代社会における数学的考察の大切さを考えることで、算数・数学の面白さ、有用性を実感することを学び、その過程を通して、主体性に課題を解決するための数学的アプローチを身に付け、論理的に物事を考察する能力を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・数の発達についての歴史を理解する。 ・日常生活の中における数的能力の重要性を理解する。 ・数学的思考による問題解決を図ろうとする態度を持つ。 ・数的能力を向上させる段階を理解する。
23GBSN0004	数や図形の科学	全て	「数学なんて何の役に立つのか」と思っている人が多いかも知れない。しかし、私たちの生活の中には数字があふれているだけでなく、自然界には美しい数学的な秩序がいっぱい潜んでいる。本講義では、中学校や高等学校の教科書に掲載されている数学の歴史や文化に関する話題や、日常生活や自然界にある数や図形の美しさ・不思議さを知ることができる話題を取り上げ、算数・数学の面白さ、日常生活との結びつきなどを発見し、探究的な態度や論理的思考力を修得することを目的とする。	<ol style="list-style-type: none"> (1) 日常生活や自然界にある数や図形の美しさ、不思議さに気づく。 (2) 様々な場面で数学が活用されていることを知り、自然科学に対する興味関心を高める。 (3) 柔軟な思考力、数学的表現力を養う。
23GBSN0005	生命科学入門	全て	「生物」「いきもの」に関わるテーマについて、自分の身の回りの事柄を科学的に考察し、知っている事実からその現象を連想し理解することで、「生物学」「生命科学」に対する探求心を養うことを目的とする。	<ol style="list-style-type: none"> 1) 生命科学を体系的に把握するために、大きな視点と小さな視点の両方から「生命」について理解できる。最新の細胞・分子生物学では非常に小さな事象を扱うため、できるだけ大きな視点から始めて、自分自身のこととして捉えられるように学習する。 2) 身の回りに起こっている生命に関わる様々な事象を、科学的に理解できる。
23GBSN0006	環境問題の歴史	全て	21世紀の最大の課題は環境問題の解決である。21世紀に生きる皆さんに必要なものは、環境破壊や環境問題に関する知識と環境影響に対する秀でた感受性である。本講義では、古代ギリシャから現在までの環境問題の歴史を学びその教訓をいかに生かしていけばよいかを考える。	過去の環境問題がいかに生じてきたか、またどのように解決されてきたかをプレゼンできるレベルを目指す。
23GBSN0007	科学技術の歩み	全て	明治期の主要産業は絹製品、綿製品であり、さらに大正・昭和期にはレーヨン・スフという再生繊維に進歩し、太平洋戦争後には合成繊維が登場する。本講義では繊維を切口に明治期以降の科学技術の進歩の歴史と経済の歴史を俯瞰する。	日本の繊維産業の興亡を通して、日本の科学技術の進歩の歴史をプレゼンできる。
23GBSN0008	生命科学の基礎	全て	21世紀は生命科学の時代といわれている。本講義は皆さんが興味を持っている血液型と性格の関係・恋愛と血液型の関係、さらに借り卵子や代理母などの生命倫理、またDNAの本質を社会学的な視点を保ちつつ理解することを目指す。	DNAの働き、借り卵子、代理母などの実態をプレゼンできる。
23GBSN0009	生活の中の物理学	全て	身の回りに見られる題材から、日常生活の素養となる物理学を習得する。論理的/数理工学的な考え方で自然を眺めたり、応用する力を養う。物理に限らず、科学的なりテラシー能力を得られるよう広い話題から講義を進める。	ものごとのしくみ・背景にある自然法則の理解を通じて、普段の生活をより一層味わい深いものにする。また、数量的な見積りや論理的思考を日常的に行う習慣を身につけ、擬似科学に騙されないような感覚を取得する。法則やその背景を理解し、論理的な説明ができること・科学的な常識を持つことを目標とする。
23GBSN0010	最先端物理学が描く宇宙	全て	物理学の歴史的な進展も交え、我々が現在までに得ている「宇宙」の観測的描像と理論的描像を紹介する。論争によって発展をつづけた科学的世界観や、宇宙物理学の諸問題を理解する。現代物理学の2つの柱である相対性理論・量子論を紹介し、宇宙が膨張していること・ブラックホールが存在していることはどうやってわかったのか、素粒子の確率解釈が必要となった理由は何かなど、物理学の根源的な問題を(数式ではなく)論理的な展開を軸に解説する。自然界を解明していくサイエンスに触れ、教養を得るだけでなく、広くて柔軟な思考を身につけて欲しい。	宇宙物理学をキーワードに、物理に対する考え方や取り組みを理解する。現代物理学が描き出す、非日常的な不思議で壮大な結論を理解する。教科書にないような最先端の事柄を調べ、科学的・論理的な説明ができる能力を養う。

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
23GBSN0011	色 彩 情 報	全て	私たちの生活は色にあふれている。衣・食・住、どれをとっても彩色が施されており、生物にも自然にも色がある。では、みなさんが見ている色と隣の人が見ている色は果たして同じ色なのだろうか？ 本科目では、色の基礎知識として、色の見えるしくみ、色を正確に伝達する手法、その他、生活の中にもみる色情報のしくみを理解することを目的とする。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 色はなぜ見えるのかを説明することができる。 2. 色を正確に伝達する手法を用いて色の説明ができる。 3. 生活を営む上での色の役割を説明することができる。 4. 学修した色に関する知識を実生活で活かすことができる。
23GBSN0012	科学から考える衣服と生活	全て	衣服といえば一般的にはファッションが想起され、デザインや流行といった文化的側面に目が行きがちであるが、物としての基本的価値、例えば身体を寒暑等から守ることで人類が地球全体に活動範囲を広げられたことなどを忘れてはいけない。衣服の科学的知識やその根底の考え方は衣生活において極めて重要で、大学等でも古くから系統的に研究され、教えられてきた。本講義では、衣服に関する科学的領域について、人体生理から素材、環境問題まで広くその科学的知識や考え方を教授するとともに、より良い衣生活について受講生と共に模索したい。科学と生活のかわりに気付くことで、科学を普段の生活に役立てられるようになるだろう。	本授業によって、健康的で快適な衣生活を実践できるようになることを到達目標とする。また、家庭生活やアパレル系職業、幼・保から高校までの教職等、各自の活躍する場において周囲に正しい知識や情報を適切に伝え、グローバルな視点で社会全体がより良い衣生活に向かうように各自が努めることを期待している。
23GBSN0013	健康を支える仕組み	全て	ヒトの生命の誕生から成長、加齢を通して「健康のための生命科学」を展望します。「いのち」はいつ始まり、いつ終わるのだろうか。また人間の尊厳とは何なのだろうか。現在、生命科学は驚くべき進歩をとげたが、あらためてこのような難問に直面している。先端医療の急速な発達に伴って、われわれは従来のやり方では十分に扱えない倫理的問題に直面している。本講義では、生物の持つ共通の原理・仕組み（生物の構造・機能・遺伝子、情報処理）を理解し、生物の有する機能を人類の健康や福祉に役立てることができるということを理解する。	健康に関する情報を発信するが、講義を聴いただけでは健康にはならない。ヒトの生命システムをよく理解し、学んだことを実践し、健康に努めることが目標である。
23GBSN0014	生活習慣と脳と心と身体の科学	全て	MUKOJO ACTION・VISION「一生を描ききる女性力を。」を具現化していくためには、まず、自分自身の「脳」と「こころ」と「身体」を健康に保つ必要があるが、その鍵は「睡眠」「運動」「食事」「ICTとの付き合い方」など基本的な生活習慣にあることが科学的にも明らかとなっている。本講義は、大学生生活を始めるにあたり、さらに、将来、社会人として、母親として、また、保育士・教師、看護師・助産師・保健師、心理士など対人援助職に就くことを見据え、生活習慣を自分の意志と行動でコントロールするための科学的な知識を身につけ、実践していくきっかけとなること、将来、臨床現場で活かせる基盤を整備することを目的とする。	<p>ヒトは昼行性の哺乳類の一種であること、その進化の過程で「脳」や「こころ」と呼ばれる高次脳機能を発達させてきたこと、そして、その「脳」や「こころ」、また、「身体」や「生命」は、「睡眠」「運動」「食事」「ICTとの付き合い方」など日々の基本的な生活習慣により、ある程度コントロールすることができること、さらに、発達は胎児期からすでに始まっているという視点とその重要性を踏まえ、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ そのための知識を身につけることができる。 ・ それらを整理し、他者に伝えることができる。 ・ それに対する他者の考えを加えて、自分の考えを適切に修正できる。 ・ 自分自身の生活習慣を見直し、継続する意識付けができる
23GBSN0015	薬 と か ら だ	全て	薬は生きていく上で、多くの人が使用するため、本講義では薬や身体に関する正しい知識を身につけ、医薬品を適切に使用することを目的とする。	様々な疾患に対する治療薬を紹介し、それぞれの特徴や注意点を習得することで、薬物治療に対する知識を深める。
23GBSN0016	健康生活とライフステージ	全て	乳児から高齢者にいたるまで、それぞれのライフステージ、性別などの違いにおいて、健康生活を保つために、特に知っておきたい基礎知識を身につける。また、健康生活を保つための社会の仕組みや法律の基礎についても理解する。これらにより、学生の皆さん、および大切な家族および隣人が健康生活を保つことができるよう行動、活動することを目的とする。	学生の皆さんのそれぞれの立場、卒業後の職種において、自分自身だけでなく、周囲の人達も含めて、種々のライフステージで健康生活を保つことが出来るよう行動、活動することを目標とする。
23GBSN0017	薬 の 歴 史 と 未 来	全て	人類の歴史において薬は常に身近にあり、薬の発展は人類の発展とともにあるといっても過言ではない。本科目では、近代から現代にわたる薬学の歴史を通じて、生命現象と薬のかかわり、社会と薬のかかわりを理解し、医療における薬の在り方について考える。	薬について、各自の身近な経験や興味を出発点として、関連事項を調査・整理・発表できる。薬の治療効果、機能や作用機序だけでなく、薬の創製や開発に関する出来事、時代背景や人物など薬について科学的かつ歴史的に調査研究を行い、今後の医療における薬の関わり方についてプレゼンテーションできる。
23GBSN0018	はたらく細胞とくすり	全て	からだの中にはたくさんの”はたらく細胞”がある。その働きを理解したうえで、関連する病気とそのくすりの使用目的、使い方、選び方等を理解する。	自分たちのからだの中ではたらく細胞が担当する役割と働きを知り、関連する病気やくすりについての知識を習得する。さらに、自分で薬局で買えるくすりについて、その違いや選び方を学び、理解につなげていくことを目標とする。

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
23GBSN0019	身近にある科学	全て	リンゴの落下に「万有引力」という法則があるように、日常生活で出会う話題やなにげない現象にも自然科学の法則やメカニズムが内包されている。この講義では、身のまわりの現象や出来事を題材として取り上げて「科学」していく。私たちの日常生活と、高校までの学修内容や自然科学系の科目とのつながりについて理解を深めて欲しい。この科目では、客観的なデータや根拠に基づく考え方や、論理的な推論を通じて自然科学の基礎を学ぶことを目的とする。	この授業を通して、自然科学の基礎について理解し、日常生活に見られるさまざまな現象や出来事を、客観的な根拠に基づき説明できる。
23GBSN0020	発達障害の理解とリエゾン支援	全て	神経発達障害の支援において、法律や文部科学省からの通達などでも当事者の特性やニーズに沿った、多職種・多施設との連携が重要とされており、これをリエゾン（連携）支援と呼ぶ。本講義を通じて、神経発達障害の基本的な知識の習得、最新の知見にも触れるとともに、スペシャリストとしてだけでなく、それぞれの専門性の違いを理解、尊重しあって連携を行うことができるジェネラリストの視点を身に付けることを目的とする。	神経発達障害に関する基本的な知識を、リテラシーをもって説明することができる。神経発達障害の支援に必要な多職種・多施設によるリエゾン（連携）、ライフステージに沿ったトランジション（移行）支援のための知識やジェネラリストとしての視点を説明することができる。

基礎教養科目群 国際理解科目

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
23GBSI0001	音楽から見る人と世界	全て	世界の様々な地域や時代における音楽のあり方を通して、音楽が人や社会に及ぼす影響について考える	学生が受講を通じて音楽と人、社会との関連について興味を持ち、今後の生活、専門領域に役立てることを目標とする。
23GBSI0002	韓国文化の理解	全て	最近、「韓流」ということばが日本社会において大衆文化のキーワードになっている。本講座では韓国の文化と社会について基礎的な知識をはじめ、多様な韓国文化に対する理解を含めることを目標とする。	隣りの国韓国を身近く感じ、その文化を理解し説明することができる。
23GBSI0003	International Perspectives I	全て	In this class, students share their perspectives on historic and contemporary topics, in relation to Japanese culture. After watching videos or reading short articles, students can understand more about Japanese customs through comparison to other cultural perspectives. The objective of this class is to develop students' curiosity about how other people understand culture, language, and values. From every corner of the world, students can find things they have in common and also find things that are original to those places.	This class centers on learning to listen to a wide range of opinions and ideas from an international point of view. To achieve this goal, students will become more globally minded and gain a basic knowledge of international conditions in various societies. In addition, students will use critical thinking skills while reading, writing, and engaging in conversation.
23GBSI0004	International Perspectives II	全て	The objective of this course is for students to increase their knowledge and awareness of international communication and cultural issues. Exploring different cultural perspectives provides the chance to learn about international life and ideas. Culture is woven into the fabric of every language; examining different cultures brings a deeper understanding of English. As students develop an understanding of international communication and culture at a deeper level, they will be able to understand their own culture in new ways.	Using Japanese culture as a springboard for comparison, students will use their skills of expressing opinions and asking questions as they study international conditions in various societies. Specifically, they will use critical thinking as they increase their knowledge of intercultural communication and international culture. The goal is to increase the students' level of cultural knowledge of international achievements through this course.
23GBSI0005	中国文化論	全て	中国文化は古代から隣国日本に少なからず影響を与えてきた。中国は今後も日本の最も密接な関係を有する国である。この講義の目的は豊かな奥深い中国文化の基礎知識を概説することにある。	学生が受講を通じて中国文化のみならず、日本文化との関連についても興味を持ち、今後の生活と仕事に役に立つことを目標とする。
23GBSI0006	国際協力入門	全て	今日グローバル化がますます進むなか、さまざまな課題も国境を越え他国に影響をおよぼす。たとえば、地球環境を考えればそれは明らかであろう。また国際移動に目を向けると、南北格差、紛争、気候変動といったさまざまな課題に気が付くことができる。この科目では、国境を越える課題を解決するために、国際社会や国民国家でどのような取り組みがなされているか、また国際機関がどのように携わっているかといった国際協力の基本的な知識を身に付けることを目的としている。	<ul style="list-style-type: none"> 国際協力の基本的な知識を習得している。 国際移動を通して、世界における課題を理解する。 日本が国際協力にどのように関与しているのかを事例を挙げて説明ができる。 国際協力を他人事ではなく「自分事」として捉え、自身が取り組んでみたい行動を言語化できる。

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
23GBSI0007	韓流ブームから考える韓国文化	全て	近年の「韓流ブーム」を、ドラマ・音楽などのポップ（サブ）カルチャーの側面に目を向けつつ、韓国文化および韓国・日本の関係について、異文化理解の観点（文化特定）から、基礎的な項目を中心に読み解く。また、文化と言語は切り離して考えることはできないため、「韓国語」についても簡単な挨拶等を学ぶ。	韓流ブームの歴史を異文化理解の観点から説明できる。 韓国・日本文化の類似点相違点を説明できる。 韓国語で簡単な挨拶ができる。
23GBSI0008	言語習得と異文化理解	全て	言語、そして文化の違いによる、考え方・言語活動・行動様式などを総合的に学ぶ。本国文化を理解するとともに、多文化社会に柔軟に対応するための基礎知識を会得する。	・母語習得と第二言語習得の違いが説明できる ・言語とアイデンティティの関連について説明できる
23GBSI0009	世界の中の日本人	全て	この科目は、普段あまり意識することのない文化が自己形成や心のしくみにどのような影響を与えているのか、また文化の中で生きる人間の生き方が、どのように文化や社会を維持・変革しているのかを分析・考察できるようになることを目的とする。	ひとの感じ方や考え方、行動は個人によって差があるのは当然であるが、文化によっても異なっている。文化とひとの心や行動との相互作用に関する理論や研究についての知識を得ることにより、文化と人間について分析・考察できるようになる。また、文化の中で生きている自分自身を見つめ直す機会を得る。
23GBSI0010	子どもと多文化社会	全て	国際化の進展とともに、日本に居住する外国人は年々増加しており、国籍も多様化している。定住外国人の増加に伴い、その家族である学齢期にある子どもも増加してきている。 この授業では、「外国にルーツのある子ども」に焦点を当て、まずは日本語の修得が十分でない小・中・高校生の実態を知る。そして、異なる言語・習慣・文化的背景を持つ人たちと、互いの違いを認め合いながらよりよい社会を築いていくにはどうすればよいのかについて、学生一人ひとりが主体的に考察することを目的とする。	この授業を通して獲得したい知識・スキル（技術・技能）・態度（姿勢）は次の3点である。 ①学生は、日本に居住する外国人が増加、多国籍化している歴史的、社会的背景について理解したことを記述できる。 ②学生は、学齢期にある「外国にルーツのある子ども」が日本の学校で学んでいる実態を知り、課題とその解決方法について、具体的に記述できる。 ③学生は、異なる言語・習慣・文化的背景を持つ人たちと、互いの違いを認め合い、身近なところから国際理解を進める（これを「内なる国際化」という）にはどうすればよいのかを考察し、自分自身の生き方に反映させることについて、具体的に記述できる。

基礎教養科目群 現代トピック科目

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
23GBST0001	わたしたちの大学と地域をまなぶ	全て	私たちの学校と、所在する地域の歴史、景観、文化などを実践的に学ぶことで、学生時代を過ごす地域、社会に生きる市民としての教養、理解を深める。 さまざまな記録や記憶、モノの存在によって、学校や地域の文化、歴史、生活が形成されていることを理解する。 学校や地域に対する誇りや求心力を高めると同時に、その内容を「語れる」ようにする。 「学院歴史ゾーン」形成に向けた基盤を作る。	記録や記憶、モノの存在によって学校や地域の特質や個性が形成されていることを理解する。 私たちが日常生活を送る武庫川女子大学（附属校園含む）について、深い知識と理解を得る。 「西宮」「鳴尾」地域に所在する私たち武庫川女子大学の学生が、地域住民の一員であること、学校の地域における存在意義と関係について理解する。 大学や地域に対する理解を深めて定着させるため、内容を問う「Mukojo検定」の問題を作成する。 「歴史ゾーン」の形成に向け、情報やルートなどを作成し、案内とプレゼンテーションを行う。
23GBST0002	Current Affairs in Japan I	全て	1. Understanding the impact of Japanese current affairs and the values on global society. 2. Analyzing Japan's role in international politics and diplomacy. 3. Exploring Japan's economic and trade relationships with other countries. 4. Examining the influence of technology and innovation on Japanese society. 5. Investigating current social, environmental, and ethical issues in Japan and their global implications. This course aims to introduce important concepts in Japanese current affairs. Students are expected to apply this knowledge to enhance their future personal and professional goals.	At the end of this course, the students will be able to; -describe some of Japanese current affairs in English -relate the knowledge learned to real life experiences -express and share their own ideas and opinions with peers related to Japanese current affairs. -increase awareness of Japanese current affairs in the news and how they understand it in their daily lives -conduct research in their area of interest -create introductions, lead the class in discussion of an article, make questions come up with answers, and do research on a Japanese cultural topic of their choosing. -Participate in role plays or debate differing views with other students in pairs. -using the 'who, what, when, where, why questions.

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
23GBST0003	Current Affairs in Japan II	全て	Learning about Japanese current affairs with people around the world is important. Taking a deeper look at Japanese Current Affairs will help us in understanding our global society. This course aims to introduce important concepts in Japanese current affairs. Students are expected to apply this knowledge to enhance their future personal and professional goals.	At the end of this course, and as we continue in to part 2 of this class, the students will be able to; -describe unique concepts of Japanese current affairs in English -relate the knowledge learned to real life experiences -express and share their own ideas and opinions with peers -increase awareness of Japanese current affairs and how they understand it in their daily lives -conduct research in their area of interest -create short movies on their introduction, interviews, and research topic -Participate in role plays, or debate differing views with other students in pairs -using the 5 W's; 'who, what, when, where, and why' questions.
23GBST0004	モラルジレンマから考える私	全て	日常生活には様々なモラルジレンマがあり、これらは正解がはっきりしないことも多い。社会の中で生活するためには、自分の意見を明確にするとともに、他者との議論を通じて、自分の意見を見つめ直すことも必要となる。本授業ではこのジレンマ過程を実際に経験しながら、自分と異なる意見にも耳を傾ける態度を養い、自分自身について見つめ直すことを目的としている。	①自分と異なる意見や考え方に対して、理解しようと努力できる ②自分の意見を論理的に他者に伝えることができる ③他者や他の班の意見を聞いた後、それぞれの主張を要約できる ④他者の意見と自分の意見の違いなどをふまえて、自己分析ができる
23GBST0005	心理学トピックス	全て	人の心理に関する幅広いトピックについて専門的知見を基に解説を行い、「心理学とは何か。」について多角的かつ総合的に学ぶことを目的とする。	1. 人の心や行動について、心理学的視点から考えることができる。 2. 日常生活に、心理学の知識が役立つことを理解できる。 3. 心理学に関する諸理論を日常生活の身近な出来事と関連づけることができる。
23GBST0006	現代社会と保健医療	全て	本授業では現代社会や世界が直面する保健医療問題とその解決の糸口について学ぶことで現代社会の一員としての自覚を深める。	・保健医療分野での多様な専門領域を有する講師陣からの教授により現代社会が抱える保健医療分野の課題について自分の言葉で説明できる ・保健医療分野での多様な専門領域を有する講師陣からの教授により現代社会の保健医療問題と解決の糸口について自分の言葉で説明できる ・現代社会が直面する保健医療問題について理解を深めることにより、科学的根拠を基に保健医療問題を考察することができる
23GBST0007	社会福祉の学び	全て	今社会で何が起っていて、何が必要とされているのかについて社会福祉の視点・観点から学び、社会福祉への関心を深める。	①現代社会における福祉課題について説明することができる。 ②社会や身近な環境に存在する福祉課題を発見することができる。 ③多様な思想を学び、自分と異なる価値観を理解・尊重することができる。 ④講義から得た幅広い知識をもとに、福祉課題の解決に向けた自分なりの考えを述べるることができる。

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
23GBST0008	テレビ映像と現代社会	全て	<p>テレビは、長い間情報伝達の中心的役割を果たしてきた。この授業では、テレビの歴史や今後のインターネット社会でテレビを含むメディア全体がどのように変化していくのかについて考える。更にテレビ映像について、企画・撮影・編集など多方面から研究する。</p> <p>インターネット社会での映像について私が最も大切に考えていることは、その映像が正しい情報を伝え、かつ表面的ではなく物事の本質を捉（とら）えているかという点だ。</p> <p>大災害時のネット映像は信頼できるのか？テレビニュースは本質を捉えた映像を放送しているか？様々な角度からメディアの映像を検証し映像の裏にある物事の本質について考える。</p> <p>学生の皆さんが、この授業でより社会的な視野を広げ、正しい情報と物事の本質を見抜く力を身につけることがこの授業の目的である。</p>	<p>テレビとインターネットが融合する大きな変化の中で、学生の皆さんがテレビの社会的役割や特性を知った上でネット社会に臨むことは、今後の人生にとって有益である。</p> <p>ネット上の“情報の洪水”の中から必要な情報を拾取選択し、社会を見つめる視野が今以上に広がることを、そして将来メディアで仕事をしてみたいという学生が出てくれることをこの授業の到達目標と考えている。</p> <p>具体的な到達目標は以下の通り。</p> <p>○わが国が今後の国民に対する情報伝達サービスをどのように考えているのか、メディア全体（テレビとインターネット）の現状と今後の動きを類別し、具体的に述べることができる。</p> <p>○過去70年間のテレビ映像が、国内外の歴史にどのような影響を及ぼしてきたかを具体的な事象と共に説明できる。</p> <p>○ニュースの重要性と「正確な情報」の大切さを具体例と共に認識できる。また実際に「ニュース企画」を考案できる。</p> <p>○ニュース・スポーツ・情報番組・ドキュメンタリーなどの映像コンテンツを視聴し、それらがどのようにして制作されているかを比較・分類できる。その上で、映像（動画）撮影、編集、照明の奥深さを評価できるようになる。</p> <p>○テレビからインターネットへと変化しても、人を傷つけないためには変化してはいけないものもある。表現方法や取材のやり方など、情報を送り出す側のノウハウを具体的に述べるができる。</p> <p>○物事の本質を見抜く楽しさ・面白さを習得できる。</p>
23GBST0009	女性のためのマーケティング	全て	<p>マーケティングとは顧客および市場の創造である。消費財（化粧品・食品・衣服等）の購入決定権の8割は女性が握るといわれ、女性がマーケティングの知識を習得し、消費財の企画・市場調査・広告宣伝・営業などマーケティングの現場で活躍することが期待されている。</p> <p>本科目では、身近な事例にもとづいてマーケティングの基本を習得し、マーケティングへの理解と興味を深めて、将来的にマーケティングに関わる業務で活用できることを目的としている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・マーケティングとは何かについて、自分の言葉でわかりやすく説明できる。 ・マーケティングの基本概念について、わかりやすく説明できる。 ・身近な商品・サービス事例をSTPにあてはめて、わかりやすく説明できる。 ・身近な商品・サービス事例をマーケティングミックス（4P）にあてはめて、わかりやすく説明できる。 ・マーケティングの応用理論についてキーワードと身近な商品・サービス事例を関係付けられる。 ・マーケティングの基本概念を使って、マーケティングプランを具体的に立案できる。
23GBST0010	スポーツツーリズムと地域創生	全て	<p>スポーツツーリズムの歴史や概念、現状、事例などを学び、自分の身の回りで展開されているスポーツツーリズムを理解し、説明できるような基礎的知識を身につける。また、スポーツツーリズムの国内外の事例を通じて、その概念や現状を理解すること、近接領域である健康をテーマとしたヘルスツーリズムも加えて、ヘルス・スポーツツーリズムの役割や課題について学修する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい領域であるスポーツツーリズム、ヘルスツーリズムについてどのようなものなのか説明できる。 ・現代社会においてスポーツツーリズムが注目される背景や理由、推進する上での課題、自治体が取り組む理由などに対して、自分なりの考えを述べるができる。
23GBST0011	「記録すること」と現代社会	全て	<p>最近、公文書の廃棄や記録の削除が行われていることが頻繁に報道されており、社会的な問題となっている。「記録すること」は人類の営みの痕跡・裏付けであり、「記録すること」によって、人類は知識や情報、技術や制度を「遺す」ことができ、進化を遂げることができた。この積み重ねが現在の私たちの社会を支える法やルールの裏付け（エビデンス）となっていることを想起すれば、「記録すること」への対応が、私たちの未来に大きな影響を与え、私たちの未来につながることを理解することが重要である。</p> <p>本科目では、「記録すること」の意味や意義とともに、「記録すること」が未来への責任であることを理解することを目的とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「記録」、「記録すること」の歴史的段階や位置づけ、機能について理解する。 ・「記録」、「記録すること」の社会的、制度的運用状況を理解する。 ・公文書管理法などの法、アーカイブ、電子文書など、「記録すること」に関わるさまざまな制度、側面について学び、その内容を理解する。 ・「記録すること」にかかわるさまざまな事例について学び、「記録すること」に関する現代的課題を確認し、課題解決の方策を提示する。 ・「記録すること」の重要性を理解し、自らの生活、および将来に活かす考え方を体得する。

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
23GBST0012	大学生活入門	全て	一般に大学生は、活動・行動範囲も飛躍的に広がり、以前より自由な行動を認められるが、一方では自分を律することを求められ、大人としての責任・責務も発生する。この授業では、学生生活を有意義に、また安全かつ快適に過ごし、その後生涯にわたって、社会人として健全な社会生活を送るために、必ず知っておきたい基本的な知識を修得する。 <1年生対象>	大学生として、またその先の社会人への備えとして自分の健康と生命は自らが守るという自覚をもち、健全で安全な社会生活を送るための健康、食生活習慣、危機管理等に焦点をあて、基本的な考え方や知識を習得する。

ジェンダー科目群

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
23GGEN0001	女性のための発達心理学	全て	目的の一つは、女性ならではの発達の特徴と課題を中心にしながら、人の生涯にわたる発達の過程を理解していくことである。目的の二つ目は、それらの理解をもとに、自分らしい発達を遂げていくことについて考察し、自分なりの人生を作り出ししていくことへの見通しをもつことである。	<ul style="list-style-type: none"> 各発達時期の特徴と課題とを述べることができる。 性差について、論理的に思考し、不要な性差観を排除することができる。 自分なりの生き方について考え、意思を表明することができる。 成長し続ける女性としての自分を創りだすことへの意欲と態度を表現できる。
23GGEN0002	セクシュアリティ入門Ⅰ	全て	この科目の目的は、セクシュアリティという概念への着目を通して、性の多様性に関する知識と意識を高め、自分も含めた一人ひとりの違いを尊重できる感覚を培うことである。	<p>この科目の受講終了時には、</p> <ol style="list-style-type: none"> ①セクシュアリティに関わる基本的な用語を説明できる ②セクシュアリティにまつわる歴史的な出来事を具体的に説明できる ③セクシュアル・マイノリティとマジョリティの両視点に立つことができる ④セクシュアリティと個人のライフイベントの関連について考察できる ⑤セクシュアリティに関する社会の動向について自分の考えを述べることができる
23GGEN0003	セクシュアリティ入門Ⅱ	全て	この科目の目的は、セクシュアリティに関するさらなる知識と理解を修得し、自分も含めた一人ひとりの違いと人権を尊重するだけでなく、社会正義とは何かを問う力を養うことである。	<p>この科目の受講終了時には、</p> <ol style="list-style-type: none"> ①セクシュアリティにまつわる基本的用語や概念を具体的に説明できる ②セクシュアリティにまつわるダブルジョパディ (Double Jeopardy二重の不利) について考察できる ③セクシュアリティにまつわる人権と社会正義について自分の考えを述べるができる
23GGEN0004	女性と教育	全て	教育における自らの経験や現状をジェンダーの視点から分析・考察することによって、ジェンダーにとらわれないしつけや教育の可能性について考える力を養う。また、学校におけるアンコンシャスバイアス (無意識の思い込み) に基づく教育内容、慣習、言動などについて学び、その影響について知識を養う。さらには、将来起こり得る様々な出来事 (就職、転職、進学、結婚、介護等) について主体的に考え、行動できる力を養う。	<ul style="list-style-type: none"> 日々の生活の中でジェンダーを意識し、「当たり前」、「当然」、「自然」とされがちなさまざまな事象を批判的に捉えられるようになる。 これまでの「とらわれ」から自由になる。 自分の言動が他者と異なっても、それに戸惑うことなく、自信が持てる。同時に他者の言動を尊重できる。
23GGEN0005	ジェンダーとアイデンティティー	全て	ジェンダーやセクシュアリティをめぐるのは、学問的には日々進展しているものの、日常生活においては依然として理解が進まず、性別二元論や性別分業 (観) が根強く残っている。そのために、女性であること、同性愛者であること、トランスジェンダーであること等のために生きづらさを感じている人は少なくない。ジェンダーとセクシュアリティについて学ぶと同時に、性別二元論や性別分業 (観) の問題について学ぶことを通じて、「個の尊厳」と多様性 (ダイバーシティ) の尊重が、自分や他者が生きる上で、いかに重要かについて学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ジェンダーやセクシュアリティについて理解し、「当たり前」、「当然」、「自然」とされがちな様々な事象を批判的に捉えられるようになる。 これまでの「とらわれ」から自由になる。 自分の言動が他者と異なっても、それに戸惑うことなく、自信が持てる。同時に他者の言動を尊重できる。 さまざまなジェンダー問題に敏感になり、自らの考えを説明できる。
23GGEN0006	ジェンダーと社会	全て	男女共同参画社会、女性活躍社会、国連の2030アジェンダやその中の持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals, SDGs) の提唱やPRIDE指標の作成等により、国内外でジェンダーやセクシュアリティにかかわる問題を解決しようという動きが見られ、女性やLGBTQ+が活躍しやすく、多様性 (ダイバーシティ) を尊重する社会の構築をめざす動きが加速している。同時に、ICTや人工知能 (AI) は、これまでの雇用のあり方を大きく変えつつある。本科目では、女性やLGBTQ+に関わるさまざまな社会の変化について、ジェンダー、セクシュアリティ、格差という3つの視点から学ぶことにより、望ましい共生社会のあり方や自らの生き方について主体的に捉える力を養う。	<ul style="list-style-type: none"> 現代社会とジェンダーやセクシュアリティに関わるキーワードを理解する。 社会問題をジェンダー、セクシュアリティ、格差の視点から捉えて、自らの考えを明らかにできる。 社会の問題点を理解したうえで、望ましい社会のあり方について、自らの考えを明らかにできる。

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
23GGEN0007	女性の身体とセクシュアリティ	全て	この科目は、ジェンダーの理論やセクシュアリティに関する事柄を理解し、自分の身体や性について考察できるようになることを目的としている。	ジェンダーの理論や社会問題、セクシュアリティに関する知識を身につけることで、自分自身の心の中にある固定観念や偏見に気付くことができる。また、女性が抱える問題や女性に多い障害についての正しい知識をもつことで、それらを予防・対処できる力を身につけることができる。
23GGEN0008	メディアに見るジェンダー	全て	この科目は、メディアの中にある具体的な事例を通して、ジェンダーの理論や問題を分析することにより、自分自身の中のジェンダー意識を再考できるようになることを目的とする。	ジェンダーの問題は、漫画や小説やエッセイ、映像などのメディアに顕著に表れていることが多い。メディアの中にあるジェンダーを分析することにより、また、メディアから受けている多大な影響に気付くことにより、「当然」と思っている価値観やイメージについて分析・考察できるようになる。さらに、ディスカッションなどを通し、多様な意見や価値観に触れることで、自身の考えを深めることができるようになることも目的の1つとする。
23GGEN0009	女性が輝く社会づくり	全て	「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）」などの法整備により、女性が活躍できる社会への変化が促進されている。本授業では、働く女性を守る法と権利の現状を理解したうえで、その生き方に自信と誇りを持って活躍できる社会への変化の意義と課題を学ぶ。	(1) 女性活躍推進法の趣旨とその施策について基礎的なことを説明できる。 (2) 女性が活躍できる社会へ変わっていく意義と課題を説明できる。 (3) 働きやすい職場の条件を理解し、進路選択に活かすことができる。

キャリアデザイン科目

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
23GCRD0001	教員から見た社会人基礎力	全て	教員には幅広い知識と教養だけでなく、高い専門性も求められている。また、自ら学ぶ姿勢や他者と協働し、解決していく姿勢などの基礎的資質・能力も重要視されている。これらの資質能力は、教員に限らず職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な力でもある。本授業では、進路選択の一助となるよう、教職の魅力を知るとともに、社会人に必要な基礎的知識・素養を身につけることを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> 自己実現や社会貢献に必要な知識（教職教養を含む）、スキルを獲得する。 自分の良さや可能性を発表できる。 自分と異なる意見や考え方を傾聴し、自分の意見を他者に論理的に伝えることができる。
23GCRD0002	女性のためのライフプランニング	全て	現在、女性をとりまく環境は大きく変化している。このような時代に、自らの夢を実現するために、何を学び、いかに自らの能力を伸ばすのかを考える。また、キャリアについてどう戦略的に考え行動するか、女性としてどう生きるかを重要なポイントととらえ、有意義なライフプランを考える。	<ol style="list-style-type: none"> ライフプランの大切さを知る 社会で活躍できる人材に成長するための大学生活の過ごし方を理解し実行する 社会人として必要な社会人基礎力を理解する 女性をとりまく背景、社会状況を理解する 自らのキャリアプランとライフプランを形成する 理想のライフプラン実現のための課題を見つけ、その課題を解決する能力を身につける 自己表現ができるコミュニケーションスキルを身につける 正しい日本語を使う能力を身につける
23GCRD0003	自己アピールトレーニング	全て	就職試験の面接で必要な知識や技能を身につけ、自分自身を最大にプレゼンテーションすることを目標とする。	<ul style="list-style-type: none"> 自分の強みを見つけ、表現できるようになる。 他の学生の強みや改善点を見つけ、それを上手く相手に伝えることができるようになる。 人前で自分の考えを自信を持って言えるようになる。 ニュースや新聞を通じて、社会に目を向けるようになる。 清潔感のある身だしなみを身につける。 社会人として必要なマナーを身につける。

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
23GCRD0004	キャリアと学び	全て	<p>いま、社会や企業が求める力は、主体性やコミュニケーション力やリーダーシップその他、じつに多様です。</p> <p>そうした諸能力を育み、そのコアとなるのが思考力や継続的学習能力、すなわち「自分で考える力」と「自ら学ぶ力」または「生涯学び続ける力」である。</p> <p>勉強は大学で終わると考える人は、充実したキャリア発達と幸福で豊かな人生の実現は困難になる。これから迎える「人生100年時代」のマルチステージにおいては、キャリアは勤務先に管理されるものではなく、自分が管理することを求められるようになる。生涯にわたるキャリア形成に求められるのは、自らの人生と仕事について考えるキャリア意識と成長意欲、そして目の前の課題に真摯に取り組む姿勢と主体的に学ぶ力である。この生涯学び続ける力こそが、本学が創立80周年に掲げた「一生を描ききる女性力」(MUKOJO VISION)の核となる。</p> <p>本授業の目的は、受講生が仕事と学びに関する考察を深めながら、これからはどんな職業に就いても必須といえる生涯を通じて学び続ける力を獲得することであり、さらに、自ら考え行動する主体性と社会的関心を身につけ、加えて学ぶ楽しさを感じ得ることである。</p> <p>併せて「社会に貢献できる女性の育成」(武庫川学院教育目標)に資するために、受講生が「高い知性・善美な情操・高雅な徳性」(立学の精神)の涵養を意識し、「主体性・論理性・実行力」(武庫川女子大学教育推進宣言)を具えた「自立した学生」への成長を意識することを目指す。</p>	<p>この授業では、受講生が次に述べるような知識、スキル、マインドを獲得する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①質問と失敗を恐れぬ姿勢 ②キャリア意識の喚起 ③人生100年時代と女性活躍への理解 ④生涯学び続ける力と学習性効力感 ⑤教養とリーダーシップの重要性の認識 ⑥授業外学習として本と新聞を読む読書習慣 ⑦自分で考え、自分の言葉で話し、自分で行動する力 ⑧目の前の課題への真摯な取り組みと自己肯定感 ⑨自立と社会的関心 ⑩MUKOJO VISIONと武庫女の教育理念への共感
23GCRD0005	仕事力を考える	全て	<p>社会人として仕事をするうえで求められるものはじつに多岐にわたる。基礎学力およびそれぞれの職業に必要な専門的知識やスキルは言うまでもないが、それらのリテラシー(知識と読み書きのスキル)だけでなく、必須となるのがコンピテンシー(行動特性)である。それは、多様な人々と協働するために、発信力と傾聴力を含むコミュニケーション力、自分で考える力、積極的な行動力、チャレンジ精神、仕事への熱意、リーダーシップ、ストレス耐性等々(いわゆる社会人基礎力)が含まれる。</p> <p>それらの能力とその意味を考えるとともに、人生100年時代を念頭に置きつつ、なぜ社会や企業等はそういう能力を必要とするのか、さらにそうした能力を育むには何をすればよいかについて考察する。その考察を通して、企業や役所等が採用選考時(学生側から言えば就活時)に、筆記試験だけでなく、エントリーシート(ES)や面接を重視する理由もおのずと明らかとなる。</p> <p>この授業では、受講生が、そうした社会人として仕事をする際に求められる能力の必要性への気づきを得、それとともに、それらの仕事力の獲得に向けて行動を起こすことを目指す。</p> <p>併せて、そもそも何のための仕事力なのか、人生100年時代のマルチステージにおける仕事力を視野に入れ、それに「一生を描ききる女性力。」(MUKOJO VISION)を重ね合わせながら、人生と仕事における「幸福」の意味を考える。</p>	<p>この授業で、受講生は次のようなスキルとマインドを獲得する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①社会から求められる仕事力の全体像と社会人基礎力への理解 ②自分で考える力、自分の言葉で話す力、積極的な行動力 ③公共圏における発信力と傾聴力を含むコミュニケーション力 ④当事者意識を含むリーダーシップの涵養 ⑤自立した個人同士の協働を可能にする協調性 ⑥挑戦・失敗・成長への意欲喚起 ⑦キャリア意識と目の前の課題に真摯に努力する姿勢 ⑧目標設定力と目的意識の重要性理解 ⑨消費者マインドから生産者マインドへの意識転換 ⑩充実したキャリア形成のために必須の自己肯定感と生涯学び続ける力 ⑪「一生を描ききる女性力。」の理解 <p>到達すべき具体的な行動指標としては、一人行動、例えば、授業に一人で前方出席。グループディスカッション(GD)への積極的な参加。知らない人の前で自分の考えを話す。コミュニケーションへの入口としての笑顔と挨拶。ダメモト精神と失敗してもめげないチャレンジ精神。本と新聞を読むこと。</p>
23GCRD0006	企業の見方	全て	<p>社会における企業の役割や多様性ととともに、その存在意義や様々な活動について考え、併せて、将来の進路選択や職業選択の際の参考材料を蓄える。また、様々な企業事例を見ながら、優良な企業や組織とはどのような条件を備えているのかについて考察し、そのことによって、企業や業界を一般的なイメージとして捉えるだけではなく、個々の企業を具体的に観察する眼を養う。</p> <p>他方、学生自身の問題として、消費者としての目線から、生産者もしくはサービス提供者としての目線を獲得することを目指す。あるいは、これまで消費者であり学生として生きてきた者から生産者であり働く社会人となる者へのマインド転換を理解する。この転換がなければ、十分な企業理解が得られないことから、学生側の意識変容も重視する。</p>	<p>この授業の受講生は次のような知識、スキル、マインドを獲得する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①企業に関する様々な知識と社会的関心 ②BtoB企業および中小企業に対する理解 ③個々の企業の具体的な見方 ④自分から企業等を調べる態度 ⑤就活と就業に対する前向きな姿勢 ⑥主体的に就活と仕事を楽しむ逞しいマインド ⑦自分自身の将来における夢や目標の発見またはその重要性の理解 ⑧目の前の課題に真摯に取り組む姿勢 ⑨自分自身の企業選びの軸づくり ⑩自分で考える力、自分の言葉で話す力、行動力

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
23GCRD0007	卒業生が語る仕事と人生	全て	<p>学生にとって卒業後に始まる職業世界や社会人生活は未体験ゾーン。したがって不安と期待が錯綜するのは当然のこと。そんな学生たちにとって、社会人として活躍する卒業生に接することは大きな意味をもつ。夢と情熱と誇りをもって真摯に仕事に取り組む先輩の姿は、学生たちに尊敬や憧れの念を喚起し、自らの居場所に対する誇りを抱かせる。</p> <p>さらに、先輩達からのメッセージに刺激や励ましを受けた学生たちは、自らの今の学生生活を見直し、学習意欲の向上や生活習慣の刷新、さらに自分に不足する能力開発へと、自分自身の成長と自立を強く意識し、そのための行動を起こし始める。その結果、学生たちは自分の可能性と自己効力感への気づきを得る。</p> <p>武庫川女子大学は、立学の本質において「高い知性・善美な情操・高雅な徳性」、加えて教育推進宣言で「自立した学生を社会に送り出す」と謳うが、本科目はその一助となることを目指す。</p> <p>加えて、創立80周年に策定されたMUKOJO VISIONの「一生を描ききる女性力を」のメッセージを理解し、人生100年時代を迎えて、「女性活躍」に相応しい力とマインドを備えた学生の育成に寄与する。</p>	<p>この授業において、受講生は次のようなスキルとマインドを涵養し習得する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①ロールモデルの発見 ②成長意欲と失敗の積極的受容とチャレンジ精神 ③主体性と行動力 ④努力の価値認識 ⑤キャリア意識の醸成とポジティブ思考 ⑥自分の居場所への誇りと自己肯定感 ⑦武庫川女子大学の教育理念の理解 ⑧将来の夢と目標の醸成 ⑨学生生活の見直し ⑩学習意欲の増進 ⑪自立と社会的関心 ⑫読書習慣（本と新聞）
23GCRD0008	文章表現の基礎	全て	<p>文章表現力は学生生活や卒業後の仕事と人生において必須のスキルである。例えば、授業中のコメントシート、レポートや卒論の作成だけでなく、留学その他の志望理由書や就活のエントリーシート、社会人に求められる仕事上の企画書や報告書の作成、そして日常的にやりとりするメール文など、自分の考えを文章にまとめて表現する場面は多い。自分の考えを読み手に分かるように書くことは、非常に難しい。この科目では大学生生活で求められるレポート書く際に必要となる様々なスキルを理解し、養成することを目的とする。講座受講後には、論理的な思考やコミュニケーションの基礎となる文章を読み解く力と自分の考えを言語化する力が身に付けられる。併せて自分を表現することを通して、自分の価値観を知り、大学生生活の意義を自ら見出すことができるようになる。</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 新聞や専門書、論文など、多様な文章を読解することができる。 (2) 「情報収集→情報分析→考察→構想→文章表現」というプロセスを身に付けることができる。 (3) 様々な資料をもとに構築した自分の主張を論理的に記す、意見提示型レポートを作成するためのスキルを身に付けることができる。 (4) 自己を「ふりかえる」力を身に付けることができる。
23GCRD0009	プレゼンテーションの基礎	全て	<p>プレゼンテーションは学生生活や卒業後の仕事において重要なスキルとなる。例えば、授業での口頭発表、ゼミの研究発表、留学その他の活動報告、就活での自己PR、社会人に求められる仕事上の企画や報告の発表など、自分の意見や主張を人前で発表する機会は多い。そのため、この科目では、学生がプレゼンテーションとは何かを理解し、その理解に基づいて、プレゼンの限られた時間で伝えたいことを伝えたい相手に最適な手段を用いて伝える能力を獲得することを目的とする。</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) プレゼン作成に必要な様々な資料の活用法を身に付けることができる。 (2) 目的に応じて、効果的なプレゼンテーションを作成することができる。 (3) 聴き手を意識し「思考」と「感情」に訴えるプレゼンテーションが行える。 (4) 文章や発表を通して、批評力を身に付けることができる。
23GCRD0010	キャリアビジョンと人物評価	全て	<p>大学生として、就職活動を展開する際、単に自分の「経験」という直感的理解や勘を介在させて活動していくことは必ずしも望ましい成果をもたらさない。したがって、一般企業であれ、公務員の採用試験であれ、人物評価を客観的に理解しておくことが望まれる。そして、人物評価法の正しい認識と採用面接における評価軸を前提として、自らの「価値づけ」を行うことが不可欠となる。</p> <p>この授業では、採用面接を客観的、分析的に理解することで、戦略的な事前準備の方法論を紹介し、良い意味で「印象」を残すための志望動機と自己アピールの「考え方」と実践方法（フレームワークの利用）を様々な事例を通じて学んでいくことで、就職活動における学生の不安を軽減することをその目的とする。</p>	<p>面接対策は、他者の主観に左右される側面があることも事実ではあるが、人物評価法の「考え方」と「事前準備」によって、効果的な準備が可能となることはいうまでもない。この授業では各自が自分の強み（希少性）を生かした自己アピールができるようになることを目標とする。</p> <p>コロナ禍の影響により、就職活動がそのルールのみならず、手法等にも大きな変化がみられていることは事実である。しかしながら、優秀な学生を獲得したい企業側や行政側のスタンスには何ら変化はない。重要なことは、特別な経験を積むことではなく、学生各自に内在している潜在的な力を顕在化させることと考える。そのために「ないもの探し」から「あるもの探し」という発想の転換を促し、自分に合った職探しの契機をつくることを最大の目標とする。</p>
23GCRD0011	公務員の魅力	全て	<p>少子高齢化が進む中で国民の行政ニーズは多様化しており、公務員の仕事に対する期待はこれまで以上に高まっている。</p> <p>本授業では、行政組織（国家行政と地方行政）の仕組みと公務員制度の概要を理解したうえで、国民の奉仕者としての公務員の仕事の概要を説明し、進路選択の契機となる知識を学ぶ。</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 行政組織（国家行政と地方行政）の仕組みと公務員制度の概要を説明できる。 (2) 公務員の義務と制限を理解し、公務員に求められる社会的信頼と倫理観について説明できる。 (3) 公務員への進路選択の契機となるのに十分な、公務員の仕事の特性を理解できる。

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
23GCRD0012	ベンチャービジネス概論	全て	この授業では、学生がベンチャービジネスの特異性について学び、社会人として生きていくためのヒントを習得することを目的とする。	学生がベンチャービジネスの着眼点、専門性、資金調達、イノベーション、情熱などの特異性を理解して、自らがベンチャーやベンチャー支援者となりうる可能性を見つけ出せるようになる。
23GCRD0013	ビジネスプラン構築概論	全て	時代の変化や様々なライフイベントに直面した時に、自らキャリアを再構築して一生を主体的に描き切るためには、「新しいことを始めること」が求められる。その時「何を考えたらいいいのか、何から始めたらいいのか、どうやって進めたらいいのか」につき、多くの理論化が行われているのがビジネスの分野である。この講義では、新しいアイデアを創出し、そのビジネスモデルを構築するための知見を獲得し、ワークを通じて深く理解することを目的とする。	①新しいビジネスアイデアの創出、②ビジネスモデルを構築するマインド・知識・ノウハウの獲得
23GCRD0014	就 活 に 学 ぶ	全て	私の授業を受講した内定者は、ほぼ全員が就職活動を経験して成長したと言い、しかもその9割以上が就活は楽しかったと口にする。そうした学生の成長経験を踏まえると、全員が就活をするわけではないので実際には出来ないが、大学の正課プログラムの中に就活を加えてもよいとさえ思うほどである。 本科目の目的は、成長を促進する就活経験の意義を考察すると共に、就活の各ステップが自分の成長の契機となることを検討し、それらに真摯に取り組むマインドを醸成することである。 併せてこの授業では、就活だけがんばっても無意味であること、納得いく就活をするためには1、2年生からの学生生活の充実が不可欠であることを学ぶ。さらに内定獲得はゴールではなく、「内定その先へ」がむしろ大切であり、人生100年時代を見据えて、ウェルビーイングな人生と仕事を視野に入れて就活に取り組むことが肝要であることを理解する。 言い換えれば、持続可能な就活の成果は、短期的な就活時期だけに焦点を当てるのではなく、学生生活全体を含めて、MUKOJO VISIONが「一生を描ききる女性力を。」を掲げるように、就活の前後の人生を見据えた長期的な視野を持つことが求められる。 また本科目では、就活の意味や就活に関する情報や知識を考えるだけでなく、就活を楽しむマインドと共に、就活に取り組む姿勢として必須のポジティブ思考、主体性、行動力を涵養し、受講生の行動変容を図る。 受講生が、辛い状況のなかでも前向きに就職活動に取り組むたくましいマインドを醸成すること。そのために受講生が失敗を恐れず、粘り強く何事にも挑戦する姿勢を涵養し、とくにマイナスと挫折と面倒に強くなること。また、そうした生き方の重要性に気づき、その実践を目指すことができるようになること。そのことによって、自ら考え行動する主体性と社会的関心を身につけ、学ぶ楽しさを感じ得る。 併せて、「社会に貢献できる女性の育成」（武庫川学院教育目標）に資するために、社会人として仕事をする際に必要となる「高い知性・善美な情操・高雅な徳性」（武庫川学院立学の精神）の涵養を意識し、加えて「主体性・論理性・実行力」（武庫川女子大学教育推進宣言）を具えた「自立した学生」に成長することを目指す。	この授業の到達目標は、受講生が次に述べるような知識、スキル、マインドを獲得する。 ①ネガティブな就活イメージの転換 ②主体性の獲得（脱・指示待ち人間） ③思考力と発信力 ④失敗を恐れぬ行動力と成長意欲 ⑤前向きにたくましく就職活動を楽しむ心構え ⑥自己肯定感と共に、自立と社会的関心の獲得 ⑦自己理解（自己分析）の重要性の認識と実践 ⑧企業研究、エントリーシート、面接等の就職活動に関する知識と捉え方 ⑨社会人基礎力を含む社会人として求められる仕事力への問題意識 ⑩武庫女の教育理念およびMUKOJO VISIONの理解
23GCRD0015	SOAR 人生100年をきり拓く力	全て	「人生100年時代」と言われる現代においては、科学技術の進展や社会構造の変化などにより、これまで以上に長期的な視点から今後の人生を捉え、どのように生きていくかを考える必要がある。 本科目では、ジェンダー、セクシュアリティについて基本的理解を得ると共に、ヘルスケアや法律および社会制度等の知識を多角的に得て、自分自身のライフプランやキャリアデザインについて考える契機とすることを目的とする。	・人生100年時代における、社会環境の変化を説明できる。 ・ジェンダーやセクシュアリティの基本を理解し、基本的用語を説明できる。 ・現代社会における女性を取り巻く課題に問題意識をもって説明できる。 ・自分自身のライフプランやキャリアデザインを考えるのに必要な知識を得て、自分の考えをまとめて発表することができる。

言語・情報科目群 言語リテラシー科目
1. 英語

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
23GLIL0101	英語コミュニケーションⅠ	全て	英語で話すことに慣れていない学生が、英語を用いて、積極的にコミュニケーションを図る態度を身につけ、身近な話題について会話する基礎的な力を培うことを目的とする。本授業は外国人講師が担当し、授業はすべて英語で行う。	挨拶、自己紹介などを英語で行うことができる 身近な話題であれば、会話の内容を大枠で聞き取ることができる 基礎的なやさしい表現を用い、身近な話題について英語で話すことができる
23GLIL0102	英語リーディングⅠ	全て	初級レベルの学生がパラグラフの構造や読み方を知り、効率的、かつ確実に英文の内容を理解することができるようになることを目的とする。様々な英文を読み、文のパターンを理解し、英文の論理的な読み方を学ぶ。文法事項や表現を復習するとともに、語彙力も培う。	<ul style="list-style-type: none"> ・パラグラフの構造を理解できる。 ・文法知識を活かし、平易な英文を理解できる。 ・積極的に英文を読む態度を身につける。
23GLIL0103	英語ライティングⅠ	全て	メールやLINEメッセージなどの日常的なライティングをはじめ、ネット利用の際に発生する「書く」やりとりにも活用できる語彙やフレーズを、「英作文」の練習を繰り返すことで習得し、短いセンテンスを用い、自分の意見を伝えることができるライティングの基礎力を身につけることを目的とする。	「書く」ための文法力を習得し、英文ライティングに応用できる。 日常のやりとりに役立つレベルの「語彙」が理解できる。 学んだ定型文を用い自分の意見を「書いて」伝えることができる。
23GLIL0104	英語ライティングⅠ	全て	メールやLINEメッセージなどの日常的なライティングをはじめ、ネット利用の際に発生する「書く」やりとりにも活用できる語彙やフレーズを、「英作文」の練習を繰り返すことで習得し、短いセンテンスを用い、自分の意見を伝えることができるライティングの基礎力を身につけることを目的とする。	「書く」ための文法力を習得し、英文ライティングに応用できる。 日常のやりとりに役立つレベルの「語彙」が理解できる。 学んだ定型文を用い自分の意見を「書いて」伝えることができる。
23GLIL0105	T O E I C 演 習 Ⅰ	全て	ビジネス、学業を問わず、あらゆる場面で、英語力が必要とされる時代に、TOEICのスコアは実力を示す指標の一つとして幅広く利用されている。本授業は、TOEIC未受験者を含め、初級レベルの学生が、各設問形式に慣れることを目的とする。	TOEIC 450点程度の能力を身につける。 比較的短い英文であればまとまりで音聞き取ることができる。 平易な英文であれば日本語を介さず理解することができる。
23GLIL0201	英語コミュニケーションⅡ	全て	英会話学習に関心があり、基礎的な英語力がある学生が、日常の身近な話題や、物事について、よりスムーズに会話の「キャッチボール」を楽しむ力を身につけることを目的とする。また、会話に必要な文法事項の復習や、語彙力の強化も同時に行う。本授業は外国人講師が担当し、授業はすべて英語で行う。	休日の過ごし方、買い物、旅行など、日常想定できる場面で、自分の意見を的確に伝えることができる 馴染みのない話題でも、質問を繰り返すなどして、大枠で理解できる 重文のみならず、複文を使って会話ができる
23GLIL0202	英語リーディングⅡ	全て	様々な話題・形式の英文を読み、長文を理解するトレーニングを行う。パラグラフの要点を読み取る方法（スキミング）を学び、必要な情報を収集する力（スキニング）を身につける。専門分野の英語文献を理解するための素地を培うことを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じて精読、速読など適切な読み方ができる。 ・まとまった量の英文を読んで、必要な情報を得ることができる。 ・読んだ英文の内容を聞き手にわかるように音読することができる。
23GLIL0203	英語リーディングⅡ	全て	様々な話題・形式の英文を読み、長文を理解するトレーニングを行う。パラグラフの要点を読み取る方法（スキミング）を学び、必要な情報を収集する力（スキニング）を身につける。専門分野の英語文献を理解するための素地を培うことを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じて精読、速読など適切な読み方ができる。 ・まとまりのある英文を読んで、必要な情報を得ることができる。 ・読んだ英文の内容を聞き手にわかるように音読することができる。
23GLIL0204	英語ライティングⅡ	全て	エッセイやニュース記事など多種多様なジャンルの英文を読みながら、使用語彙・表現・パラグラフの成り立ちなどを学び、自分の意見・提案・説明など様々な状況に応じ、論理的な英文を書くために必要な文章構成力を身につけることを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・音声言語・文字言語の違いを語彙レベルで確認し、より自然な英文を書く力を身につける。 ・論理的な文章構成力を身につける。 ・辞書やオンライン資料、参考文献等の有効的な使い方を知る。 ・文章で用いるコンマ等、記号を正しく用いることができる。
23GLIL0205	T O E I C 演 習 Ⅱ	全て	ビジネス、学業を問わず、あらゆる場面で、英語力が必要とされる時代に、TOEICのスコアは実力を示す指標の一つとして幅広く利用されている。本授業は、基礎的な英語力があり、TOEICの試験形式にある程度慣れている学生が、多くの模擬問題にふれることで、さらなるスコアアップを目指すことを目的とする。	TOEIC600点程度の能力を身につける。 文単位ではなく、パッセージ全体を通し、大枠の意味を聞き取ることができる。 頻出語彙を習得することで効率的に英文を読み取ることができる。

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
23GLIL0206	留 学 準 備 演 習	全て	初めての留学を考えている人向けの本科目では、海外で生活を送るために必要な手続きや知識、心構えについて事前に学び、留学生生活をより有意義なものにできるよう準備を行う。	英語圏に渡航する際や、ホームステイ先、学校で使用する基本的な表現を学ぶ。留学に関しての基礎知識を持ち、それを他者にも説明することができるようになる。現地で体験するであろう事柄に対して、英語でコミュニケーションをとって問題に適切に対処し、解決することができるようになる。
23GLIL0301	英 語 リ ー デ ィ ン グ III	全て	専門分野の英語文献を理解するための素地を培うことを目的とし、より上位レベルのリーディング課題に取り組む。多種多様な長文をフレーズリーディングで読み、英文全体の意図を正確に読み取る力を養う。また、要点を効率的に読み取るスキミングや、必要な情報を収集するスキニングのスキルを身につける。	<ul style="list-style-type: none"> 辞書を効果的に使うことができる。 英語の語順のまま文意を理解し、目的に応じて精読、速読など適切な読み方ができる。 複雑な英文の文構造や英文テキスト全体の論理構成を把握することができる。 英語の様々な数字表現（分数・少数・位の大きい数字など）を理解し、読むことができる。
23GLIL0302	T O E I C 演 習 III	全て	ビジネス、学業を問わず、あらゆる場面で、英語力が必要とされる時代に、TOEICのスコアは、実力を示す指標の一つとして幅広く利用されている。本授業では、上級レベルを目指す学生が、難易度が高い問題に数多く取り組むことにより、一層のスコアアップを図ることを目的とする。	TOEIC 700点程度の能力を身につける。そのために必要なスキルとして、「英語を英語のまま理解する」力や大量の情報の中から必要な情報を素早く読み取るスキニング力などを身につける。
23GLIL0303	English for Studying Abroad	全て	Encountering a new culture and using a new language are part of the challenge of studying abroad. In preparation for traveling or studying abroad, students can enjoy the process of getting ready in this course. The objective of this class to help students think about their own expectations about the customs and style of life in another country.	Learning about the communication or academic styles of another culture is part of the adventure of studying abroad. When students compare their ideals of living abroad to the reality of it, there could be moments of culture stress. In this course, students can learn about their personal styles of learning and communication as they discuss about common topics introduced through activities and discussions.
23GLIL0304	Trends in Society	全て	Everyday something new is being made, being discussed, being explored. Through our personal interests and ideas, we can enjoy sharing together about the current trends in society. Students will discuss about interesting current issues and expand their knowledge about how they contribute to the trends in Japan and internationally. Students will practice their skills of critical thinking and learn to express their opinions clearly as they present and discuss information together.	New blogs and sources of information are easy to find through online sites, but it is important to know how to evaluate this information. The skill of evaluating sources of information will be emphasized in this class. Students can enjoy developing their English skills as they learn to discuss about current topics that are related to their personal interests. The focus of this course is to increase the students' knowledge of the ways that fashion, entertainment, history and popular culture connect to past and current trends.
23GLIL0305	Successful English Discussion	全て	This is a course that focuses on how to have effective and productive discussions in English. The course aims to help students develop not only communicative English abilities such as listening and speaking, but also the confidence to actively participate in English discussions. Students will learn a variety of useful discussion phrases and have multiple opportunities to practice using them across a variety of discussion types and topics. This course will provide students with the essential tools and training opportunities that are necessary to have successful English discussions.	At the end of the course, students will demonstrate increased proficiency in conducting English discussions. This includes: <ol style="list-style-type: none"> 1) Sharing and supporting opinions 2) Making and supporting suggestions 3) Negotiating and making decisions 4) Synthesizing all of the above skills into a single discussion

2. ドイツ語

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
23GLIL0106	ド イ ツ 語 I	全て	学生がドイツ語の骨組みを理解できるようになることを目的とする。テキストをもとに、「聞く・話す・読む・書く」の技能全体をバランスよく学習する。また対話練習によってコミュニケーション能力を身につける。学生が、ドイツ語圏の文化的背景を具体的に理解できる視聴覚教材を使用する。文法面では、全体の見通し（テキスト最終項目まで）を第一とし、細部はIIにゆだねる。	学生がこの授業を通じて、ドイツ語テキストの理解やコミュニケーションの際に必要な知識を獲得するのが到達目標である。客観的な指標としては、ドイツ語検定試験5級に合格可能な能力を身につけることである。

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
23GLIL0107	ドイツ語 I	全て	「聞く・話す・読む・書く」の4技能をバランスよく組み合わせながらドイツ語の基礎を学ぶ。 読解力だけでなく、発話や会話練習の機会を通して実践的なドイツ語力を身につけることを目指す。	ドイツへの旅行や留学などで出会うさまざまな基本表現を学び、ドイツ語検定5級に対応できるドイツ語力の習得を目標とする。
23GLIL0207	ドイツ語 II	全て	ドイツ語コミュニケーション能力の養成。 ドイツ語検定試験4級の合格を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・自身や家族について、買い物、仕事、身近なことなど、直接関係する範囲であれば、文章や簡単な表現を理解したり、意志疎通を図ることができる。 ・出身地、経歴、自分が住んでいる周辺のこと、自分の要望などを簡単な表現で伝えることができる。 ・ドイツ語検定合格に必要なリスニング能力を習得する。 ・ドイツに関する文章を読むことで、ドイツの文化や実情を知る。

3. フランス語

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
23GLIL0108	フランス語 I	全て	初級文法および日常生活に必要な様々な表現を学びながら、「聞く」「読む」「話す」力を培い、簡単なフランス語でのコミュニケーションを可能にすることを目的とする。またフランス語という言葉の学ばる事を通して、フランスの文化や風土への理解・関心を深める。	<ul style="list-style-type: none"> ①基礎的なフランス語の文法事項が理解できる。 ②実用フランス語検定5級レベルの簡単なフランス語を話す事ができる。
23GLIL0109	フランス語 I	全て	初めてフランス語に触れる学生が、フランス語の基本的な構造を理解することを目的とする。テキストをもとに、「読む・書く・聞く・話す」の4つの技能全般をバランスよく学習する。また、テキストとは別にフランスのさまざまな風俗、習慣、文化等の最新情報を映像で紹介していく。この授業を通して学生がさまざまな表情を持ったフランスを発見し、フランスへの関心がさらに増すことを期待している。細部についてはIIにゆだねる。	フランス語で簡単な挨拶、自己紹介ができる。 学生がフランス語検定5級を受験可能な文法力を身につける。
23GLIL0208	フランス語 II	全て	Iで修得したフランス語の基本の発展を目的とする。Iで説明しきれなかった文法知識を補うとともに、単語面でも充実をはかることを目的とする。テキストをもとに、「読む・書く・聞く・話す」の4つの技能全般をバランスよく学習する。また、テキストとは別にフランスのさまざまな風俗、習慣、文化等の最新情報を映像で紹介していく。この授業を通して学生がさまざまな表情を持ったフランスを発見し、フランスへの関心がさらに増すことを期待している。	学生がフランス語での挨拶、自己紹介だけでなく、簡単な会話ができるようになる。 次に、学生が絵本など簡単なものであれば原書で読めるようになる。 最終的に、学生がフランス語検定4級を受験可能な文法力を身につける。
23GLIL0110	フランス語 I A	全て	初級文法および日常生活に必要な様々な表現を学びながら、「聞く」「読む」「話す」力を培い、簡単なフランス語でのコミュニケーションを可能にすることを目的とする。またフランス語という言葉の学ばる事を通して、フランスの文化や風土への理解・関心を深める。	<ul style="list-style-type: none"> ①基礎的なフランス語の文法事項が理解できる。 ②実用フランス語検定5級レベルの簡単なフランス語を話す事ができる。
23GLIL0111	フランス語 I B	全て	初級文法および日常生活に必要な様々な表現を学びながら、「聞く」「読む」「話す」力を培い、簡単なフランス語でのコミュニケーションを可能にすることを目的とする。またフランス語という言葉の学ばる事を通して、フランスの文化や風土への理解・関心を深める。	<ul style="list-style-type: none"> ①基礎的なフランス語の文法事項が理解できる。 ②実用フランス語検定5級レベルの簡単な、実用的なフランス語を話す事ができる。

4. 中国語

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
23GLIL0112	中国語 I	全て	初級レベルの中国語を習得する。 発音、基礎文型を学び、「読む・聞く・書く・話す」の総合的な中国語力を身につけ、実際に中国語を使って基礎的な会話ができることを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶、自己紹介などを中国語で行うことができる。 ・基礎的な中国語表現を使って、日常の対話ができる。 ・中国語検定試験準4級・4級、HSK（漢語水平考試）3級を受験できる。

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
23GLIL0209	中国語 II	全て	準中級レベルの中国語を習得する。 基礎的な中国語力のある学生が、日常より多くの場面で中国語を使って会話できる力を身につけることを目的とする。会話に必要な語彙およびより高度な表現を学習する。	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活、買い物、食事や旅行など想定できる様々な場面で、自分の意見や要望を的確に伝えることができる。 平易な文章、物語を読解できる。 中国語検定試験4級・3級、HSK（漢語水平考試）4級を受験できる。

5. イタリア語

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
23GLIL0113	イタリア語 I A	全て	学生は授業を通じて次の点を目指す。 *初歩的なイタリア語を学ぶ。 *「聞く・話す・読む・書く」の技能全般の初歩をバランスよく学習する。 *簡単な日常会話、自己紹介、旅行会話ができるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> *ロールプレイを設定したコミュニケーションの表現を通して、主体的にイタリア語での会話ができるように導く反復練習を行う。 *イタリアの文化に触れ、理解を深め、将来の留学・研修にも役立つ実践的基礎力を培う。 *イタリア語 I A、イタリア語 I Bを合わせて履修すれば、イタリア語検定 5 級レベル程度の語学力を獲得できることを目標とする。
23GLIL0114	イタリア語 I B	全て	学生は授業を通じて次の点を目指す。 *初歩的なイタリア語を学ぶ。 *「聞く・話す・読む・書く」の技能全般の初歩をバランスよく学習する。 *簡単な日常会話、自己紹介、旅行会話ができるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> *ロールプレイを設定したコミュニケーションの表現を通して、主体的にイタリア語での会話ができるように導く反復練習を行う。 *イタリアの文化に触れ、理解を深め、将来の留学・研修にも役立つ実践的基礎力を培う。 *イタリア語 I A、イタリア語 I Bを合わせて履修すれば、イタリア語検定 5 級レベル程度の語学力を獲得できることを目標とする。

6. スペイン語

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
23GLIL0115	スペイン語 I	全て	スペイン語を初めて学習する学生を対象とする。まず学生はスペイン語の発音および文法の基礎を身につけ、これを用いて平易な文章を理解し、さらにスペイン語による簡単な日常会話の習得を目的とする。 授業では、スペイン語圏の国々の歴史や文化的背景といったトピックなども適宜取り上げ、学生が語学の外へも興味を広げていくことを目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・スペイン語の基本文法の確認問題や発話練習を通じて、日常的に使われる表現を習得する。 ・スペイン語で挨拶や自己紹介ができる。 ・身近な話題について尋ねたり答えたりといった、基本的な表現ができる。 ・文法としては、直説法現在形から点過去形までを扱う。（目安として、スペイン語検定 6 級程度の力を身につける）
23GLIL0210	スペイン語 II	全て	スペイン語の文法を一通り習得し、明瞭な話し方であれば日常的なやりとりが理解できるようになる。 過去の行為や出来事、将来のことなどについて、比較的平易な文を使って表現できるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な言語で書かれたテキストを、文構造を把握しながら理解できる。また、音声で聞いて理解できる。 ・学習した文法事項を使って、スペイン語である程度まとまった表現ができる。 ・授業で習った表現を再現できる。また、例に倣って短い会話ができる。 ・接続法過去形まで、文法を一通り扱う。（目安として、スペイン語検定4級程度、CEFRのA2の力を身につける）

7. ハングル

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
23GLIL0116	ハングル I	全て	韓国語の基礎を習得する。 教科書に紹介されている内容を中心に、韓国の文化についても学ぶ。	<ol style="list-style-type: none"> 1.韓国旅行をしたり、韓国人の友達を作ったりできる最低限の韓国語を身につける。 2.韓国語の習得を通じて、人間関係を結べるコミュニケーション能力をつける。 3.TOPIK I（1級～2級）に対応できる語彙力・読解力・聴解力を身につける。

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
23GLIL0117	ハングル I	全て	韓国語の基礎を学ぶ。 韓国の社会文化的背景を理解し、韓国語コミュニケーション能力を身につける。	1.ハングルが書け、音読できる。 2.自己紹介ができる。 3.決まり文句・挨拶表現が話せる。 4.簡単な日常表現が話せ、簡単な文が作れる。 5.数字を聞き取り買い物ができる。 6.飲食店で注文ができる。 7.「ハングル能力検定試験」5級以上の能力に達する。
23GLIL0118	ハングル I	全て	韓国語の基礎を学ぶ。コミュニケーション能力を身につけ、社会文化的背景を理解する。	1.ハングルが書け、音読できる。 2.自己紹介ができる。 3.決まり文句・挨拶表現が話すことができる。 4.簡単な日常表現ができる。 5.数字を聞き取り、買い物ができる。 6.基本文型を使った短い文が書ける。 7.「ハングル能力検定試験」5級程度の能力に達する。
23GLIL0211	ハングル II	全て	韓国語での意思疎通に必要な中級の語尾や語彙を習得する。 韓国語での情報発信能力と聴解能力をつける。 合わせて韓国や日本の文化的な内容も学ぶ。	1.韓国人と円滑なコミュニケーションを取れる韓国語を身につける。 2.韓国語の習得を通じて、人間関係を結べるコミュニケーション能力をつける。 3.韓国文化についても学ぶ。 4.日本の文化や、関西の名所などを韓国語で紹介する練習も行う。 5.TOPIK（韓国語能力検定）2級から3級程度の合格を目指す。
23GLIL0212	ハングル検定演習	全て	これまで学んだことをもとに、ハングル検定4級・韓国語能力検定2級合格という具体的な目標に向かって学習を進める授業である。	・ハングル検定4級・韓国語能力検定2級合格レベルの問題を解く力をつける。 ・学んだ語尾を用いて、会話の練習も行う。

8. 国際センター主催 語学留学プログラム

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
23GLIL0001	特別英語演習 I	全て	学生が英語を母語とする社会において英語によるコミュニケーション力をつけることを目的とする。	学生が、英語学習や異文化経験を通して欧米の文化・歴史・習慣を調べ、同時に自国の文化と比較することができる。
23GLIL0002	特別英語演習 II	全て	学生が英語を母語とする社会において英語によるコミュニケーション力をつけることを目的とする。	学生が、英語学習や異文化経験を通して欧米の文化・歴史・習慣を調べ、同時に自国の文化と比較することができる。
23GLIL0003	特別中国語演習 I	全て	学生が中国語を母語とする社会において中国語によるコミュニケーション力をつけることを目的とする。	学生が、言語習得を通して、中国（台湾）の文化、歴史、生活を知り、同時に自国の文化等と比較することができる。
23GLIL0004	特別中国語演習 II	全て	学生が中国語を母語とする社会において中国語によるコミュニケーション力をつけることを目的とする。	学生が、言語習得を通して、中国（台湾）の文化、歴史、生活を知り、同時に自国の文化等と比較することができる。
23GLIL0005	特別ハングル演習 I	全て	学生が、韓国社会において生きた韓国語を学び、文化体験を通してその言語や文化を理解できるようになることを目的とする。	学生が、韓国社会で実践的に韓国語を学び、文化を実体験する。 学生が、韓国滞在中、韓国の人々の考え方・感じ方について考察し、東アジアにおける日本文化の位置づけを再認識できるようになる。
23GLIL0006	特別ハングル演習 II	全て	学生が、韓国社会において生きた韓国語を学び、文化体験を通してその言語や文化を理解できるようになることを目的とする。	学生が、韓国社会で実践的に韓国語を学び、文化を実体験する。 学生が、韓国滞在中、韓国の人々の考え方・感じ方について考察し、東アジアにおける日本文化の位置づけを再認識できるようになる。

9. 国際センター主催 語学留学プログラム（オンライン）

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
23GLIL0007	特別 英語 演習Ⅷ	全て	学生が英語によるコミュニケーション力を付け、アメリカ分校の教育に触れることを目的とする。	学生がこれまで学んだ英語を復習し、さらに基礎的な優しい表現を用い、身近な話題について英語で話すことができる。 また日本と異なる文化・歴史・生活を知り、同時に自国の文化と比較することができる。
23GLIL0008	海外演習Ⅰ（タイ）	全て	学生が外国語によるコミュニケーション力を付けることを目的とする。	学生がこれまで学んだことを生かし、基礎的な表現を用いて、身近な話題について外国語で話すことができる。また日本と異なる文化・歴史・生活を知り、自国の文化との比較を簡単な外国語で発信することができる。
23GLIL0009	海外演習Ⅰ（豪州）	全て	学生が外国語によるコミュニケーション力を付けることを目的とする。	学生がこれまで学んだことを生かし、基礎的な表現を用いて、身近な話題について外国語で話すことができる。また日本と異なる文化・歴史・生活を知り、自国の文化との比較を簡単な外国語で発信することができる。
23GLIL0010	海外演習Ⅱ（タイ）	全て	学生が外国語によるコミュニケーション力を付けることを目的とする。	学生がこれまで学んだことを生かし、基礎的な表現を用いて、身近な話題について外国語で話すことができる。また日本と異なる文化・歴史・生活を知り、自国の文化との比較を簡単な外国語で発信することができる。
23GLIL0011	海外演習Ⅱ（豪州）	全て	学生が外国語によるコミュニケーション力を付けることを目的とする。	学生がこれまで学んだことを生かし、基礎的な表現を用いて、身近な話題について外国語で話すことができる。また日本と異なる文化・歴史・生活を知り、自国の文化との比較を簡単な外国語で発信することができる。
23GLIL0012	海外演習Ⅰ（台湾）	全て	学生が外国語によるコミュニケーション力を付けることを目的とする。	学生がこれまで学んだことを生かし、基礎的な表現を用いて、身近な話題について外国語で話すことができる。また日本と異なる文化・歴史・生活を知り、自国の文化との比較を簡単な外国語で発信することができる。
23GLIL0013	海外演習Ⅱ（台湾）	全て	学生が外国語によるコミュニケーション力を付けることを目的とする。	学生がこれまで学んだことを生かし、基礎的な表現を用いて、身近な話題について外国語で話すことができる。また日本と異なる文化・歴史・生活を知り、自国の文化との比較を簡単な外国語で発信することができる。
23GLIL0014	海外演習Ⅰ（韓国）	全て	学生が外国語によるコミュニケーション力を付けることを目的とする。	学生がこれまで学んだことを生かし、基礎的な表現を用いて、身近な話題について外国語で話すことができる。また日本と異なる文化・歴史・生活を知り、自国の文化との比較を簡単な外国語で発信することができる。
23GLIL0015	海外演習Ⅱ（韓国）	全て	学生が外国語によるコミュニケーション力を付けることを目的とする。	学生がこれまで学んだことを生かし、基礎的な表現を用いて、身近な話題について外国語で話すことができる。また日本と異なる文化・歴史・生活を知り、自国の文化との比較を簡単な外国語で発信することができる。

言語・情報科目群 情報リテラシー科目

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
23GLII0001	Accessデータベース基礎	全て	データベースソフト、Microsoft Accessの操作方法と活用方法およびタッチタイプを修得する。	<ul style="list-style-type: none"> Microsoft Accessの基本的な操作ができるようになることを目標とする。 基本的なデータベースの概念が理解できることを目標とする。 キーボードを見なくても正しい運指でタッチタイプができるようになることを目標とする。
23GLII0002	情報社会を生きる技術	全て	パソコンやスマートフォンでインターネットを利用する上での情報セキュリティについて学習する。	<ul style="list-style-type: none"> インターネットを安全に使用できるようになること インターネットの光と影の部分を認識できるようになること 自らが使用するパソコンやスマートフォンの情報セキュリティに関する設定ができるようになること

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
23GLII0003	Webデザイン基礎	全て	情報社会では、多くの情報が電子化され情報の蓄積・検索・発信が容易に行われるようになった。ホームページ（Webページ）はその典型であるが、この科目では、ホームページの作成に利用されるHTML言語の基礎を学び、ホームページの仕組みを理解することが目的である。さらに、HTML言語を用いて、オリジナルのホームページが作成できるようになることが、この科目の目的となる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ作成に利用するプログラミング言語HTMLの特徴を説明できる。 ・HTMLの命令（タグ）について、一連の基礎的なタグの意味を説明できる。 ・ホームページ作成の際、使いやすさ、見易さという観点から、タグを活用できる。 ・最終目標として、オリジナルのホームページを作成できるようになる。
23GLII0004	Webデザイン応用	全て	基礎科目「Webデザイン基礎」の応用科目である。Web制作の基礎知識を土台にして、CSSを利用した実践的なWebサイトの制作技術を学ぶ。Webサイト制作の実習を行い、サイトコンセプトに応じたWebページを効率よく構築する技法を学習する。これにより今日のWebサイトの仕組みを理解し、仕様に応じたWebサイトを構築する手法を習得する。	<p>Webサイトを効率よく制作できるようになる。</p> <p>ユーザビリティと保守性を考慮した、CSSを活用したWebサイトを制作できるようになる。</p> <p>JavaScriptを用いたインタラクティブな機能を、Webサイトに組み入れられるようになる。</p> <p>パソコンとサーバーの役割の違いを知り、サーバー上でWebサイトを公開する仕組みが理解できるようになる。</p>
23GLII0005	Scratchによるプログラミング	全て	プログラミングを学習することにより論理的思考ができるようになり、問題解決能力を高めることを目標とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラミングの概念を理解する。 ・論理的な思考ができるようになる。 ・問題解決能力を高める。
23GLII0006	グラフィックデザイン基礎	全て	自身の持つ情報を、より直感的にわかりやすく視覚的に表現する力が、これからのプレゼンテーションやコミュニケーションにおいて求められている。DTPなどグラフィックデザイン分野で、必要不可欠な技術となったコンピュータによるデザイン描画について、その基礎技法を習得する。DTP業界でデファクトスタンダードであるAdobe Systems社のIllustratorを用いた作品制作を実習し、その基礎制作手法を習得する。	<ul style="list-style-type: none"> ・イラスト、ロゴマーク、図面などの描画や、それを用いた広告物、ポスター、パッケージ、出版物、ノベルティグッズなどの制作では、グラフィック制作ソフトが利用される。その代表的なソフトであるIllustratorを用いて、印刷物やWebサイトの素材が制作出来るようになる。 ・基本的な操作方法からオリジナル作品制作まで実習し、視覚的な表現力や情報発信力を向上させる。 ・あわせてグラフィックデータの基礎知識（色モード、ベクターデータなど）が理解できるようになる。
23GLII0007	フォトタッチ基礎	全て	写真撮影が身近になり、容易に写真による伝達が可能になった。写真を編集し、自身が伝えたいイメージをよりわかりやすく表現する力が、これからのプレゼンテーションでの差別化に求められている。写真表現において、必要不可欠な技術となったコンピュータによるフォトタッチについて、その基礎技法を習得する。写真業界でデファクトスタンダードであるAdobe Systems社のPhotoshopを用いた作品制作を実習し、その基礎制作手法を習得する。	<ul style="list-style-type: none"> ・画像加工、印刷、イラストレーションなどの分野では、写真編集ソフトが利用される。その代表的なソフトであるPhotoshopを用いて、描画と補正・色調整・写真合成などの制作技法を習得する。 ・基本的な操作方法からオリジナル作品制作まで実習し、視覚的な表現力や情報発信力を向上させる。 ・あわせてラスター画像の基礎知識（解像度、階調、圧縮画像形式など）が理解できるようになる。
23GLII0008	データサイエンスの基礎とExcel	全て	情報化社会の進展により、私たちの暮らしは多くのデータで溢れている。多種多様で大量なデータをコンピュータで分析するデータサイエンスにおいて、その基礎となるのはデータを正しく扱い、適切な方法で分析し、価値のある情報を見出すことである。本講義では、データサイエンスの基礎として、人文科学、社会科学、自然科学、いずれの分野においても重要となる統計学の基本的な考え方と統計解析の手法を演習形式で習得することを目的とする。	<ol style="list-style-type: none"> ①専門分野や周辺領域におけるデータサイエンスの活用事例を説明することができる。 ②Excelを使ってデータを度数分布表に集計し、データの種類や目的に応じてグラフで表現できる。 ③Excelを使ってデータの代表値、散布度の統計量を求め、データの特徴や傾向を説明することができる。 ④2変数間の関係を把握するために、Excelを使ってクロス表や散布図を作成し、その関連性について説明することができる。 ⑤アンケート調査データについて統計解析を行い、分析結果を第三者に分かりやすく表現することができる。
23GLII0009	データサイエンスの応用とExcel	全て	本講義は「データサイエンスの基礎とExcel」の発展科目として、推測統計学と多変量解析の基礎について学習する。また、ビッグデータ時代の到来により、大量なデータを活用する能力が必要とされているが、本講義ではデータによる問題の発見、調査の計画、データの収集と分析、結論の導出など、一連の過程を体験し、データに基づいて課題を解決する能力を身に付けることを目的とする。	<ol style="list-style-type: none"> ①母集団と標本集団の関係を理解し、分析するデータの種類やデータの分布を把握することができる ②仮説検定の方法を正しく選択し、Excelを使って検定を行うことができる ③単回帰分析と重回帰分析の内容を理解し、Excelを使ってデータ分析することができる ④データサイエンス領域の課題発見・課題解決に使用されるPPDACサイクルについて理解し、課題演習を通してそのサイクルを体感することで、より実践的な考え方を身に付ける

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
23GLII0010	データリテラシー・AIの基礎	全て	AI・データサイエンスに関して興味・関心を持ち、AI時代に身に付けておくべき知識・技能（新たな読み書きそろばん）を習得し、日常や仕事の場で使いこなせるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> AI・データサイエンスの必要性を説明できる。 社会で活用されているデータ・AI活用の事例を示すことができる。 データを処理する際の考え方を説明できる。 データ・AIを扱う上での留意事項を説明できる。
23GLII0011	データサイエンスのためのPython	全て	Python言語の入門とプログラミングのための基礎知識の習得。特にデータサイエンス（DS）に必要となるプログラミングのための基礎知識の習得を目的とする。Python言語はデータサイエンス、機械学習、人工知能関連の分野で広く用いられている言語である。この科目、Python言語による基本的なスクリプティングが自力でできるようになることを目的とする。この科目は文系の学生でも理解できるように配慮し、プログラミングの学びに入るための前提知識や統計学の基礎知識についても言及する。また将来、システム開発系の職に就くことを志す人のためにも最初の学びの機会となる。	プログラミングで扱うデータの型の概念、繰り返しや条件分岐などの制御構造、ファイルシステムの概念とデータの入出力のための方法、関数定義やオブジェクト指向プログラミングの概念を習得し、それら知識に基づいてデータ処理のためのプログラムを書くことができるようになることを目標とする。
23GLII0012	実用的ITリテラシー	全て	コンピュータとネットワークシステムの基礎知識に基づいた、実用的なITリテラシーを身につける。学生生活をおくるため、あるいは社会で活躍するために必要となる基本的なITの知識を実用的な形で学ぶ。この科目では、インターネット利用のためのマナーやエチケット、倫理に関する内容よりも、具体的なテクノロジーやその活用方法について学ぶ。またこの科目では特にPC（パーソナルコンピュータ）の扱いに不慣れな人が「IT弱者」とならないための基礎知識を学ぶ。	<p>日常的にPCを高いレベルで活用できるようになることを目標とする。IT関連の各種の資格（MOSなど）を取得する学びに入るためにも、この科目で学ぶ内容が基礎知識となる。</p> <p>注意）この科目は、特定の資格を取得するためのものではないことを理解されたい。</p>
23GLII0013	現代社会と情報	全て	デジタルネイティブと言われる現在の大学生世代において、情報リテラシー能力の必要性は良く指摘される場所である。本科目の目的は、日常生活における「数」と「論理」のセンスを学び、情報リテラシーの基本的知識と技術を身につけることにある。	<ol style="list-style-type: none"> 日常生活における情報の受け止め方について整理できる 日常生活における情報の発信における注意点を論じることができる 情報に対し倫理的な判断ができる 公平・公正の重要性について論じることができる

健康・スポーツ科目群 健康・スポーツ科学科目

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
23GHSS0001	生涯スポーツ論	全て	スポーツは現代社会において不可欠な文化と考えられる。この授業ではスポーツに関するさまざまな視点からの知識を学び、今後のライフステージにおける豊かな社会生活にそれらの情報を活かすことが目的である。	授業を通して、スポーツに関する多面的知識を正しく理解する。その知識を元に他者とディスカッションできる能力を身につける。また生涯にわたるスポーツの実践の基礎となる知識を身につける。
23GHSS0002	スポーツと栄養	全て	スポーツ選手における体力の維持、競技成績向上のために、トレーニングとともに適切な食事が重要である。そのために必要な基礎的栄養学知識を身につけ、競技スポーツ、健康の維持・増進のためのスポーツにおける食事についても理解を深める。知識の習得と共に、指導の場での応用方法や必要となるスキルを会得する。	五大栄養素のスポーツにおける役割を理解し、それぞれを応用して競技力向上のための活用方法および具体例まで挙げられるようにし、スポーツをする人を対象とした指導媒体を作成できる程度の知識を習得する。
23GHSS0003	スポーツと現代社会	全て	現代のスポーツは、政治・経済・教育など、私たちの生活と密接に関連する文化現象となっている。本講義では、スポーツの歴史や文化現象を通して、スポーツの文化的特質や社会的役割を理解する。	科目修得時には、スポーツ経営について論理的説明が可能となるよう、スポーツ経営の基礎を身につけることを目標とする。
23GHSS0004	知っておきたい応急処置	全て	学校や日常生活の中で起こりえる急病やけがに適切に対処できる方法について正しく知り、活用できることを目的とする。	<ol style="list-style-type: none"> 基本的な応急手当ての知識を習得できる。 一次救命の正しい方法を知り、基本的な対処と処置ができる。
23GHSS0005	障がい者とパラスポーツ	全て	障がい者とパラスポーツを理解し、身近な障がい者へのスポーツ活動の支援に役立てることを目的とする。	<ol style="list-style-type: none"> 障がい者についての基本的な知識を身につけ、パラスポーツの捉え方、歴史、組織、競技・種目、ルール等を説明することができる。 障がい者のおかれている状況や背景を理解することにより、パラスポーツの重要性、障がい者への関わり方等について記述することができる。

健康・スポーツ科目群 スポーツ実技科目

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
23GHSE0001	スポーツ実技（テニス）	全て	テニスは生涯スポーツであり何歳になっても楽しめるスポーツである。授業では基本技術の習得、ゲームのルールやテニスのマナーを学び応用技術を実習しゲームができるように学習する。できる喜びを感じる。	テニスの基本技術と応用技術とルールを学び試合ができることを目標とする。テニスの楽しさを学ぶ。
23GHSE0002	スポーツ実技（ゴルフ）	全て	ゴルフスイングの練習を通して身体を動かす楽しみや充実感を味わうことが主な目的。またゴルフに関する様々な知識を増やすことを目的とする。	ゴルフスイングを正しく習得すること。ゴルフの競技特性を理解すること。生涯スポーツであるゴルフを自立的に楽しめるようになることを目標とする。
23GHSE0003	スポーツ実技（バレーボール）	全て	バレーボールの楽しさは、一つのボールをつなぎラリーを行うことにある。本授業では、基本技術の習得やルールおよび審判方法など種目の特性を知ることができる。また、仲間と楽しみながらゲーム体験をし、生涯において健康的な生活を送るための健康づくりや生涯スポーツへきっかけとなる運動体験ができる。	バレーボールは集団スポーツであることから、集団的機能による共同性を養うことができる。また、本競技の本質的楽しさを知るために、個人到達目標として基本動作となるオーバーハンドパス・アンダーハンドパスおよびサーブ・レセプション（サーブレシーブ）・ディグ（スパイクレシーブ）・スパイクなどの個人技能の習得や他者を介してのボールコントロールを身につけることができる。
23GHSE0004	スポーツ実技（バドミントン）	全て	生涯スポーツとして、年齢男女問わず、レクリエーションにも競技的にも楽しむことのできるバドミントン。そのバドミントンの特性を、するスポーツ、観るスポーツ、支えるスポーツといった様々な角度から理解、実践し、楽しさを多角的に学ぶことを目的とする。	バドミントンの基本的なストローク技術やシングルス・ダブルスのルールの理解、習得をする。それらをベースとして試合を楽しみ、プレーすること、他者のプレーを観る・応援すること、試合運営を支えあうこと等から、多角的な楽しさ、バドミントンへの携わりを学ぶ。
23GHSE0005	スポーツ実技（ジャズダンス）	全て	アメリカのブラックカルチャーから派生したジャズダンスは、全世界のエンターテインメント界でもっとも親しまれているジャンルである。本授業では、ジャズダンスの歴史、特徴、スタイルを体験的に学ぶ。	<ol style="list-style-type: none"> 1. ジャズダンスの歴史や特徴について理解する。 2. ジャズダンスを踊るうえで必要な技術を身につける 3. グループ創作活動を通して、ダンスを通して他者との円滑なコミュニケーションを図る能力を身につける 4. 授業内で設定する自己課題の解決に向けて、主体的に取り組む 5. ダンスを踊る面白さや、その開放感等感じたことを言語化し、更に実生活において活用できる
23GHSE0006	スポーツ実技（エアロビクス）	全て	音楽に合わせて、リズムカルに楽しく身体を動かし、健康・体力づくりができるのがエアロビックダンスである。本授業では、健康・健康体力づくりに役立つ知識を学び、エアロビックダンスで身体を動かし、生涯に渡って楽しくフィットネスライフを継続できるようになることが目的である。	毎回の授業において、日常生活や自宅や学校等で、エアロビクスを取り入れ、いつでもどこでもできるトレーニングやストレッチを実践できるようになることが目標である。
23GHSE0007	スポーツ実技（水泳）	全て	水泳の基本的技術と水泳に関する知識を理解し、自己の水泳能力を高める。この授業を通じて得られた水泳の知識・技能を生涯にわたる健康的なスポーツライフに活かせることが目的である。	正しい水泳の知識を獲得する。その知識をもとに正しい水泳の技能を身につける。リラックスして泳ぐことができる。到達目標は受講生それぞれによって異なるが、それを達成できるようにする。全体的な目標は、正しく美しい泳ぎを余裕を持って泳げるようになることである。
23GHSE0008	スポーツ実技（軽スポーツ）	全て	トランポリン運動は、三次元スポーツ！空中で自分の体を動かし新たな身体能力を発見しよう。個人スポーツなので各自のレベルに合わせて楽しく運動することができる。また全身運動により美しいプロポーション作りに役立つ。脳の活性化・持久力・瞬発力・バランス感覚を養うことができる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. バランス感覚を身につける。コア・トレーニングができる（普段運動不足の学生）インナー・マッスルがさらに強化される（運動クラブの学生） 2. 脳の活性化・体力の向上を図る。学業のプラスに繋がる（トランポリンを使用の動作全て） 3. 生涯スポーツとして役立つ。一度身につけた感覚は忘れない為。 <p>※トランポリン運動は不安定な場所で行う為、頭と身体を一度に使う為、認知症の予防や障害者の回復運動にも利用できます。</p>

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
23GHSE0009	スポーツ実技（ヨガ）	全て	近年、AI機能やスマートフォンの進化により、とても便利な社会である反面、運動不足や不規則なライフスタイルから心身の不調を起している人が増えている。運動が体、心、脳に良い効果があることは、多くの研究報告から明らかになっているが、その中でもヨガは、時代の流れと共に変遷され、医学や心理学、企業での人材育成や能力開発など、様々な分野に活かされている。そのヨガの知恵を現代社会に取り入れやすいかたちで、実技を中心に体験学習する。学生生活また卒業後も心身のバランスを保つセルフコンディションワークとして身に付けることを目的とする。	*15回の授業で、柔軟性、筋持久力、心肺機能など基礎体力が徐々に向上するが、実技体験から感じたこと、気づきを、まとめ発表する。 *授業で学んだことを、自己のコンディションワークとして取り組みやすいようにまとめ実践する。 *授業では、多種多様なヨガアプローチを体験する。古来からのヨガの智慧を社会システムの変化が著しい現代社会の流れに合うように、斬新なヨガを体験することでクリエイティブな発想へと繋がる。
23GHSE0010	マッサージ実習	全て	自分自身の体にある関節や筋肉について理解し、マッサージによる健康維持、血行の改善の方法を理解する。たくさんの方が経験する肩こり、腰痛に対するマッサージの方法を理解する。 疲労回復、リラクゼーションを目的としたマッサージの技術を習得する。	体の部位や関節、筋肉について理解し、上肢・下肢・体幹に対するマッサージの方法を習得する。肩こり、腰痛の原因を理解し対処方法、改善策、マッサージ方法について理解する。
23GHSE0011	からだ気づきと姿勢法	全て	ネヘミア・コーヘン氏によってカナダで開発された姿勢調整法であるミツヴァ・テクニクを中心に、その基本的概念と実践の方法を学ぶ。授業では基本エクササイズを体得すること、またその過程において自己のからだの在り方に目を向け、耳を傾けることで、からだへの気づきを促すことを目的とする。	学生が自分の習慣やからだの使い方の癖を見つめ直すことを通じて、からだへの気づきと姿勢調整の意味を理解する。各自ミツヴァ・エクササイズとその補助エクササイズを継続的にできるようにする。
23GHSE0012	スポーツ実技（スリムエアロ）	全て	健康・体力づくりを目的としたエアロビックダンスについて、その特徴や運動内容を理解し、正しい身体の使い方や振付を学ぶ。本授業では、体力向上、シェイプアップを中心に楽しくエアロビックダンスを行い、学生生活から生涯において運動がライフスタイルに根付くことを目指す	エアロビックダンスの基本実技から様々なステップバリエーションを学習することで、音楽と一体感のある振付を楽しむことができ、エアロビックの技術向上を目標とする
23GHSE0013	スポーツ実技（ダンスエアロ）	全て	健康・体力づくりを目的としたエアロビックダンスについて、その特徴や運動内容を理解し、正しい身体の使い方や振付を学ぶ。本授業では、様々なリズムの音楽を使ったダンス要素の動きを取り入れたエアロビックダンスを中心に学び、ダンス初心者でも取り組むことができる内容とする。学生生活から生涯において運動がライフスタイルに根付くことを目指す。	エアロビックダンスの動きに、ジャズダンスやヒップホップ、ラテン系を中心とした動きを取り入れた実技を行い、音楽と動きを楽しむことができ、技術向上を目標とする。
23GHSE0014	スポーツ実技（パンジーエクササイズ）	全て	医師であり運動科学者が発明したドイツ発の日本最新エクササイズです。様々な人々への体力づくりのために考案されました。このエクササイズを学ぶことで自身のより高い体力の向上をめざす。	現在、自分自身の持っているすべてのスキルとフィットネスレベルを向上し、日常生活あるいは運動を実施するうえで必要なバランス能力、反応能力更には体幹も含めた筋力アップなど全身のコーディネーション能力を養うことを目標とする。
23GHSE0015	スポーツ実技（エアリアルワーク）	全て	昨今、AI機能の進化や医学の発展により、物質的に豊かな成熟社会ではあるが、その反面、多くの人が運動不足や不規則なライフスタイルから心身のアンバランス、不調を起している。こうした背景で、運動による効果は、肉体的な面は勿論のこと、メンタル、脳へも良い効果がある。エアリアルワークの体験学習を通じて、学生生活、そして卒業後も心身の健やかさを保つ方法として身につけることを目的とする。	・身体構造を踏まえた動作を体感し、その理解について、実際に動作で示すことができる。 ・姿勢改善や基礎体力（筋力、柔軟性、筋持久力、バランス、コントロール力）の向上。 ・エアリアルの機能的な動き方を自己のセルフコンディションワークとして役立てられるよう身体の使い方を意識する。
23GHSE0016	スポーツ実技（スタイルジャズ）	全て	学生は、スタイルジャズを学ぶことにより曲の理解を深め、身体表現の幅を豊かにすることを目的とする。	学生は、スタイルジャズにより曲に合わせた動きを表現することができる。 学生は、構成を学ぶことにより作品の組み立て方を理解し、ダンスの表現だけでなく作品としての表現もすることができる。 学生は、振付・構成の一部を考え、教え合うことにより指導者の立場を経験し、効果的な指導法を表現することができる。
23GHSE0017	スポーツ実技（フットサル）	全て	この授業では、フットサルのルールや特性を学び、個人技術を向上させチームスポーツとしてゲームを楽しめるようになることとともに、フットサルを媒体として他者とコミュニケーションを図り、自分の身体や体力に目を向けることを目的とする。	この授業の到達目標は、フットサルの基礎的なテクニック・戦術およびゲーム（試合）のルールを理解し、フットサルの楽しさを味わうために必要な知識・技能・態度を身につけることである。

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
23GHSE0018	スポーツ実技（パラスポーツ）	全て	パラスポーツを体験することを通じて、パラスポーツの理解、および障がいのある方や多様な人々へのスポーツ活動の支援に役立てることを目的とする。	1.学生は、パラリンピック種目や全国で取り組むスポーツ種目を疑似体験することによって、 （1）種目の基本操作を発表できる。 （2）種目のルールの概要を述べることができる。 （3）使用する機器用具の特徴や規定を述べるができる。 2.学生は、体験から学んだことをもとに、パラスポーツの重要性や障がいのある方との関わり方などについて、発表することができる。

大学・初年次ゼミ 学び発見ゼミ

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
23GUSM0001	大学 学び発見ゼミ	全て	学ぶことは自らの成長を促すことである。自らの成長を確かなものにするには、与えられたものを受け入れる段階に留まるのではなく、自分で考え、調べ、比較し、再度考えを深め、自分なりの見方・意見を持ち、それを表現するといったことが大切になる。すなわち、仲間との議論を通じて、能動的な学びの実践者になることが目的である。	授業の目的を踏まえ、各ゼミのテーマに沿った課題を個別に提示し取り組み理解する。